

道志村公共施設等総合管理計画

平成 29 年 2 月



目次

第一章 公共施設等総合管理計画の目的等.....	1
1 公共施設等総合管理計画策定の背景.....	2
2 公共施設等総合管理計画策定の目的.....	2
3 公共施設等総合管理計画の位置付け.....	3
4 計画期間.....	3
5 計画の構成.....	4
6 対象施設.....	4
第二章 道志村の概要.....	5
1 村の位置.....	6
2 村の面積.....	7
3 人口の状況.....	8
4 財政の状況.....	10
第三章 施設の現状と将来見通し.....	15
1 対象施設とその分類.....	16
2 施設の数量.....	20
3 公共建築物の現状と更新費用の将来見通し.....	21
4 インフラ施設の現状と更新費用の将来見通し.....	27
5 更新費用の整理.....	42
第四章 公共施設等の管理に関する基本方針.....	45
1 基本的な考え方.....	46
2 歳入の見通し.....	46
3 施設の利用状況と更新費用の規模.....	48
4 基本方針.....	50
5 公共建築物の類型ごとの管理に関する基本方針.....	53
6 ライフサイクルコスト削減のための具体策.....	55
7 推進体制.....	56

第五章 個別公共建築物の概要	57
1 住民文化系施設	58
2 スポーツ・レクリエーション系施設	66
3 学校教育系施設	104
4 子育て支援施設	110
5 保健・福祉施設	112
6 医療施設	113
7 行政系施設	114
8 公営住宅	139
9 公園	143
10 その他	151

第一章

公共施設等総合管理計画の目的等

1 公共施設等総合管理計画策定の背景

本村では、1936年から戦後の1955年にかけて人口が増加しましたが、1956年以降急速な人口減少が1984年まで続き、1985年以降人口は微増・微減を繰り返し、2000年以降緩やかに減少しています。

公共施設に関しては、1965年度に建設された役場庁舎が最も古く（建設年度不明のものを除く）、1972年度に中央公民館、1979年度に道志小学校（旧校舎）体育館、1981年度に道志小学校（旧校舎）等が建築されています。

このような公共施設等の中には、建築後30年から40年を経過したものも多くなり、計画的に耐震補強工事を実施してきましたが、老朽化の進行により、大規模改修や更新（建替え）を行わなければ、安全・安心に利用できなくなる恐れがあります。

また、廃校となった学校もあり、このような公共施設の有効活用も重要な課題となっています。

一方、本村の財政は比較的安定していますが、少子高齢化に伴う社会保障費の増加、また、生産年齢人口の減少に伴う税収の減少等によって、将来の財政状況は厳しくなることが予測されています。

これは本村に限らず、全国の自治体においても共通の問題といえ、国においては、「経済財政運営と改革の基本方針～脱デフレ・経済再生～」（平成25年6月14日閣議決定）における「インフラの老朽化が急速に進展する中、「新しく造ること」から「賢く使うこと」への重点化が課題である。」との認識のもと、平成25年11月には、「インフラ長寿命化基本計画」が策定されました。そして、各地方公共団体においては、こうした国の動きと歩調をあわせ、速やかに公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画（公共施設等総合管理計画）の策定を要請されることとなりました。

2 公共施設等総合管理計画策定の目的

これらの背景を踏まえ、本村においても、住民に安全・安心に施設等を利用していただけるよう適切な維持管理を推進していくことを基本に、本村の将来を見据え、次世代に公共施設等を引き継いでいくことが必要とされています。

そこで、施設の長寿命化や予防保全の考え方による維持管理、効果的・効率的な施設の有効活用、施設の維持修繕や管理運営に係る民間の技術やノウハウの活用など、施設の今後のあり方について基本的な方向性を示す計画（本計画）を策定することとします。

3 公共施設等総合管理計画の位置付け

本計画は、国による「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」（平成 26 年 4 月 22 日 総財務第 74 号）による計画策定要請を受け、本村の公共施設等（インフラも含む）の今後のあり方について基本的な方向性を示すものとして位置づけます。

また、村の最上位計画である「道志村総合計画 2016～2025」や、各種計画との整合性を十分にはかり、各政策分野における公共施設に関連する取組みに対して、横断的な指針を提示するものです。

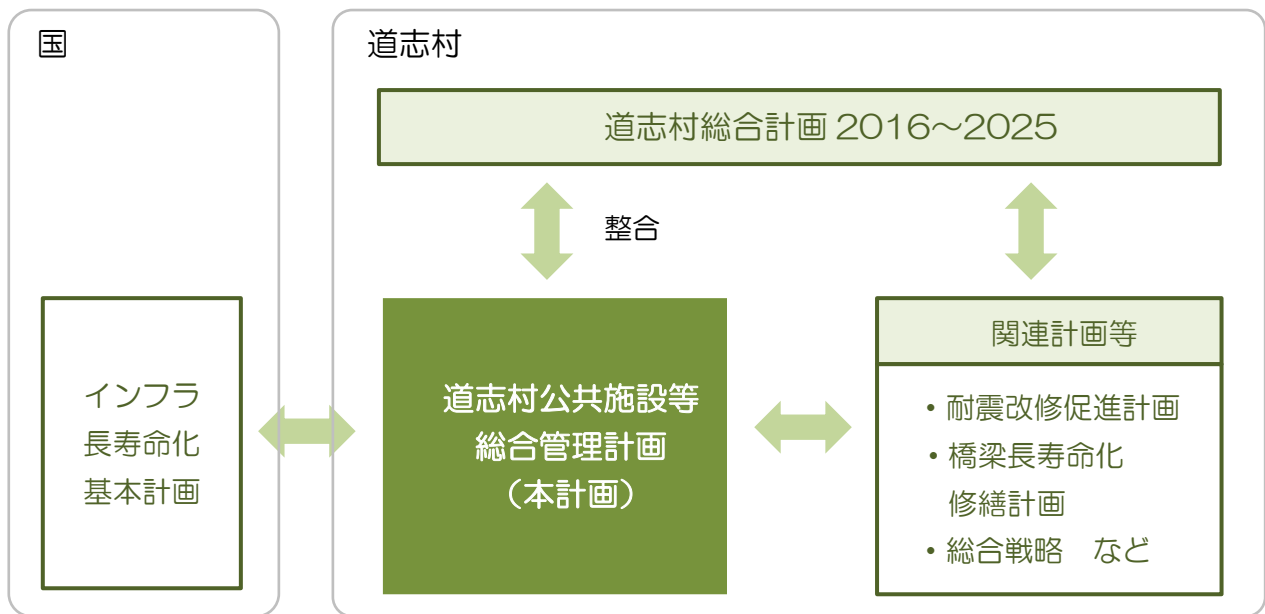


図 1 本計画の位置づけ

4 計画期間

本計画は、公共施設の寿命が数十年に及び、中長期的な視点が不可欠であることから、平成 29 年度（2017 年度）から平成 68 年度（2056 年度）までの 40 年間を計画期間とします。ただし、10 年間を単位として、社会経済情勢等を踏まえ見直すものとします。

5 計画の構成

本計画の全体構成は、次のとおりです。

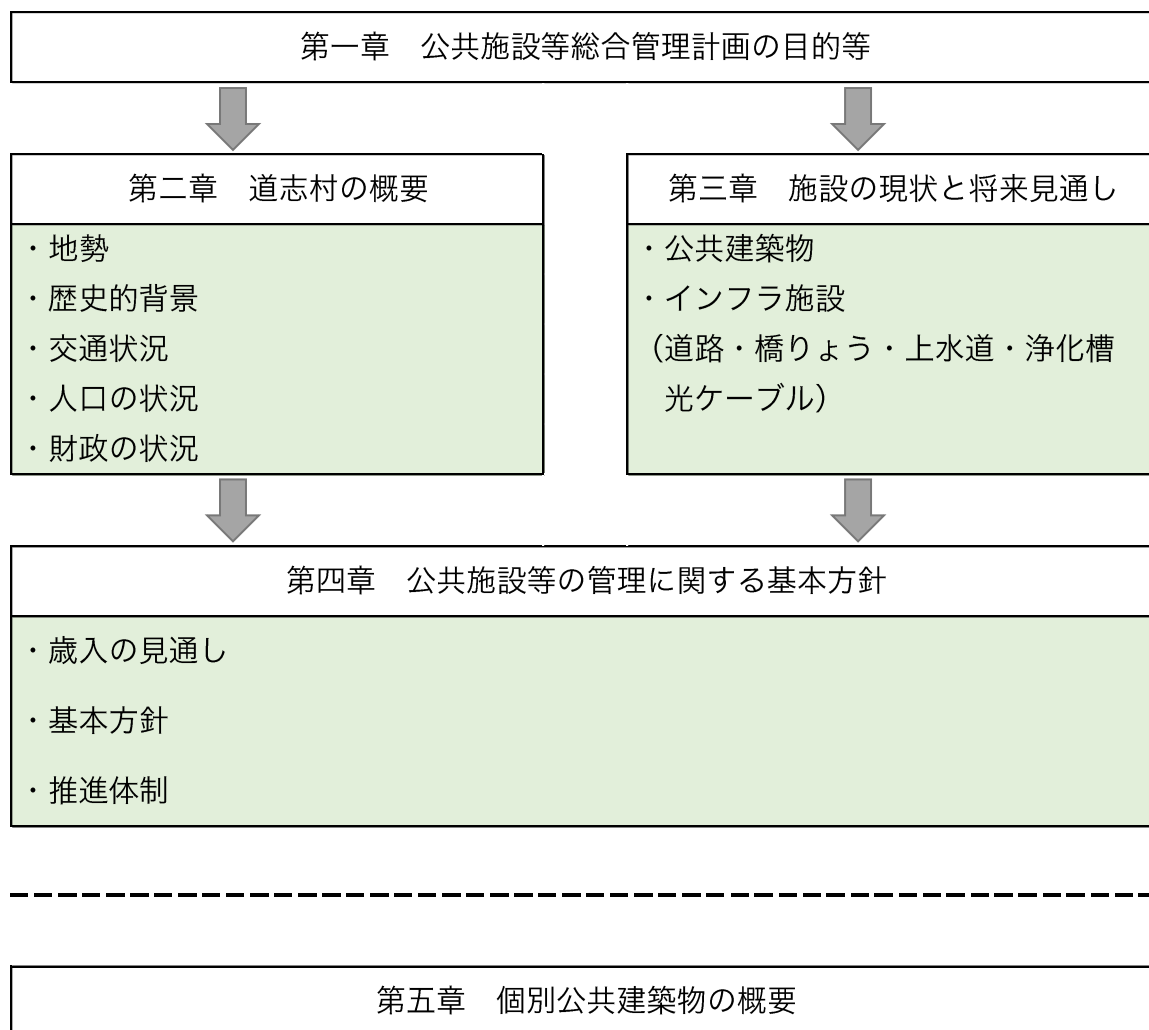


図 2 本計画の構成

6 対象施設

本計画は、中長期的視点をもって公共施設等の維持管理や修繕、長寿命化や機能統合などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、その最適な配置を実現しようとするものです。

このため、本村が保有する公共施設等の全体像を把握する必要があります。

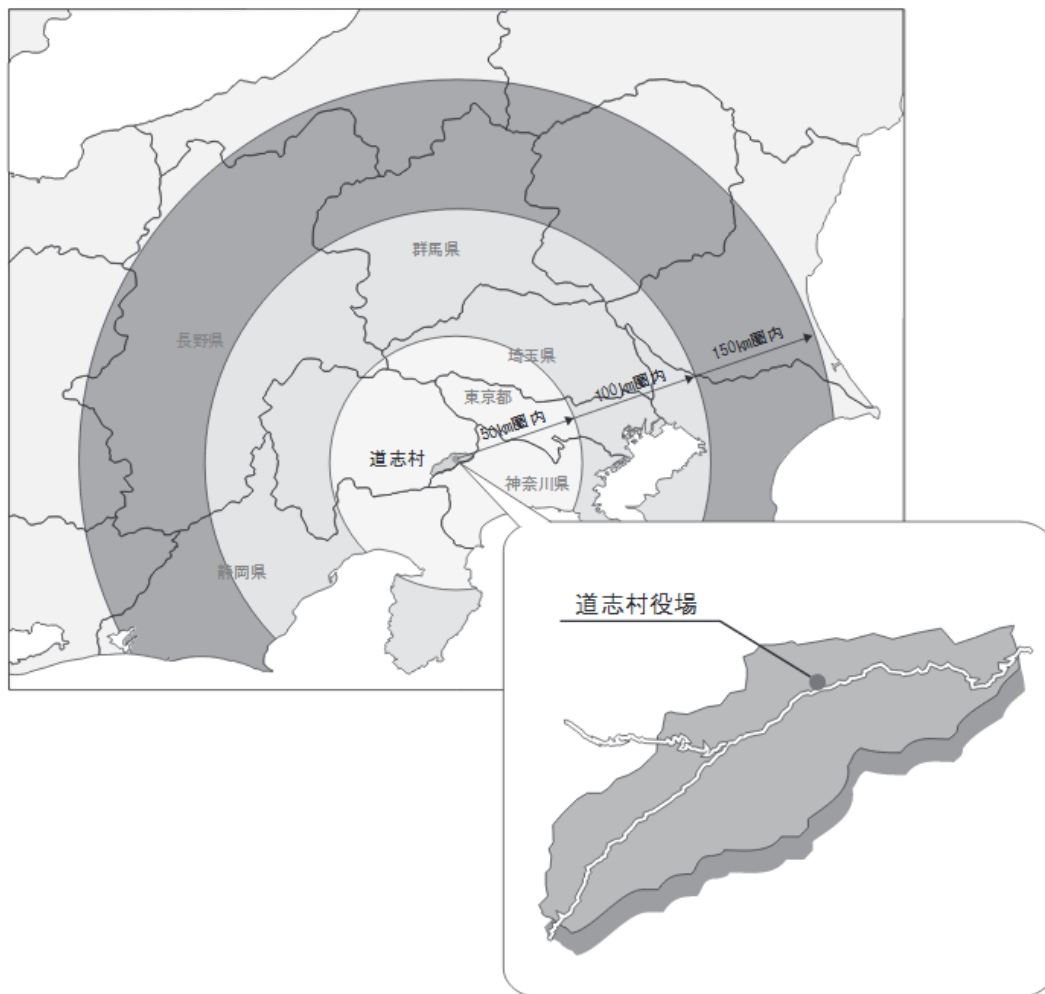
そこで、本計画で対象とする公共施設には、いわゆる「ハコモノ」と呼ばれる建物施設（公共建築物）だけでなく、道路・橋りょう・光ケーブル等のインフラ施設や上水道等の公営企業の施設（建物施設、インフラ施設）も含むものとします。

第二章

道志村の概要

1 村の位置

道志村は山梨県の東南端、神奈川県との県境に位置し、北は御正体山を始めとした山々を隔てて都留市、上野原市と、西は山伏峠を画して山中湖村と、南は大室山を境として神奈川県山北町と、東は神奈川県相模原市と隣接しています。また、道志村から50km圏内には山梨県の中央部や東京都杉並区付近までが含まれ、100km圏内には山梨県のほか、東京都、埼玉県、神奈川県の全体が含まれます。150km圏内には、関東地方のほぼすべてと長野県、静岡県のほぼ全ての区域が含まれ、この圏域内の人口は4,000万人を超えています。



出所：道志村総合計画 2016～2025

図 3 道志村の位置

2 村の面積

道志村の面積は 79.57km²で、山梨県全体の 1.8%を占めています。また、総面積に対する可住地面積の割合は 6.1%で県内で第25位、可住地面積 1km²あたりの人口密度は 373.4人で県内第20位となっており、平野が少ない山あいの地域ですが、人口は散在していることがわかります。

地区名	面積 (km ²)	構成比 (%)
山梨県 (道志村除く)	4,385.80	98.2%
道志村	79.57	1.8%
山梨県全域	4,465.37	100.0%

出典：平成 26 年度版山梨県林業統計書

順位	市町村名	可住地面積の割合 (%)	順位	市町村名	可住地面積 1km ² あたりの人数 (人)
1	昭和町	100.0	1	富士吉田市	2804.2
2	中央市	82.6	2	甲府市	2527.7
3	甲斐市	56.2			
4	忍野村	46.2			
5	笛吹市	41.4			
6	甲府市	36.0			
			20	道志村	373.4
			21	南部町	339.8
			22	北杜市	337.0
			23	鳴沢村	266.1
			24	身延町	230.7
			25	小菅村	216.9
24	小菅村	6.3	26	丹波山村	213.8
25	道志村	6.1	27	早川町	73.1
26	早川町	4.2			
27	丹波山村	2.8			

出典：国土交通省国土地理院測図部「平成 26 年全国都道府県市区町村別面積調」
平成 26 年度版山梨県林業統計書、山梨県市町村別住基人口 (平成 27 年 2 月)

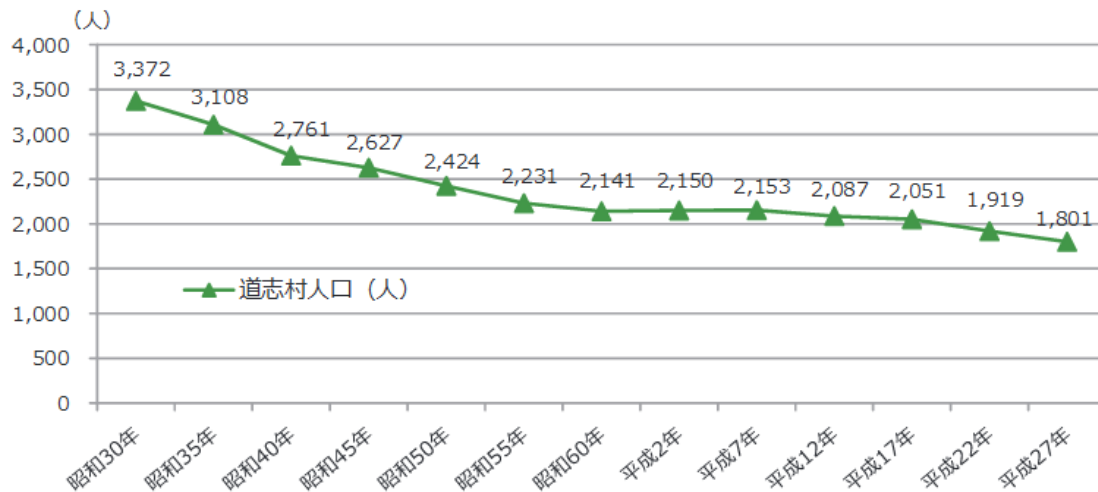
出所：道志村総合計画 2016～2025

図 4 面積・人口密度

3 人口の状況

(1) 人口の動向

道志村の人口は、戦後の昭和22年には3,235人、昭和30年には3,372人でしたが、その後昭和60年までは大きく減少傾向にありました。しかし、ここ数年は微減となり、平成22年国勢調査では1,919人、平成27年10月1日現在は1,801人となっています。



出典：平成22年までは国勢調査、平成27年は山梨県市町村別人口推計

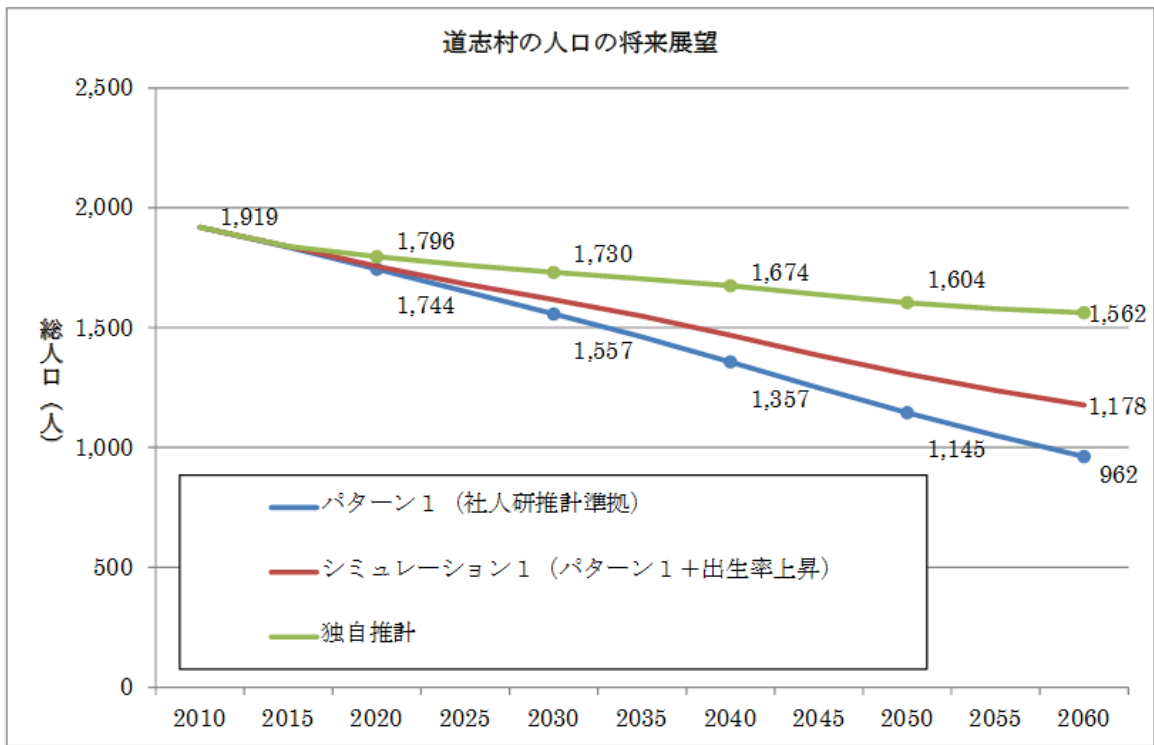
出所：道志村総合計画 2016～2025

図5 人口推移

(2) 人口の将来展望

道志村人口ビジョンにおいては、合計特殊出生率が2020年に1.58、2025年に1.77、2030年に1.96、2035年に2.15、2040年に2.36まで上昇し、かつ社会増に転じるという仮定のもと、2060年の総人口を1,562人と推計し、これを目標人口としています。

本計画策定にあたっては、この数値を基本として将来の公共施設等のあり方を考えていくこととします。



出所：道志村人口ビジョン

図 6 道志村の人口の将来展望

4 財政の状況

(1) 決算総括（平成 27 年度）

平成 27 年度決算における本村の財政状況を見ると、一般会計の歳入は約 26.2 億円、歳出は約 24.6 億円となっています。

特別会計合計に関しては、歳入が約 9.3 億円、歳出は約 8.9 億円となっています。

表 1 平成 27 年度 決算総括表

(単位＝額：千円、前年度対比：%)

区分	歳入総額 A	歳出総額 B	形式収支 C (A-B)	翌年度繰越財源 D	実質収支 E (C-D)	
一般会計	2,622,100	2,463,656	158,444	10,708	147,736	
特別 会計	国民健康保険	350,876	331,187	19,689	0	19,689
	国保診療所	113,444	113,444	0	0	0
	簡易水道	109,966	109,766	200	0	200
	介護保険	205,782	190,846	14,936	0	14,936
	介護サービス	1,356	1,356	0	0	0
	浄化槽	102,073	101,973	100	0	100
	後期高齢者医療	42,336	42,336	0	0	0
	特別会計合計	925,833	890,908	34,925	0	34,925
総額	3,547,933	3,354,564	193,369	10,708	182,661	

出所：道志村資料

(2) 一般会計歳入状況

平成27年度決算における本村の一般会計歳入状況を見ると、村税は約2.0億円(構成比7.8%)であり、自主財源全体では約5.5億円(20.9%)となっています。

一方、地方交付税は約10.4億円(構成比39.8%)であり、依存財源全体では約20.8億円(79.1%)となっています。

表2 一般会計歳入決算

(単位=額：千円、構成比・増減率：%)

区分	平成27年度		平成26年度		増減額 A-B	増減率 (A-B) /B	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比			
自主財源	村税	204,183	7.8	207,771	8.9	▲ 3,588	▲ 1.7
	使用料等	48,032	1.8	48,330	2.1	▲ 298	▲ 0.6
	寄付金等	151,228	5.8	178,031	7.6	▲ 26,803	▲ 15.1
	繰越金	131,744	5.0	90,435	3.9	41,309	45.7
	諸収入	11,874	0.5	16,514	0.7	▲ 4,640	▲ 28.1
依存財源	譲与税等	52,013	2.0	38,020	1.6	13,993	36.8
	地方交付税	1,043,865	39.8	980,379	41.8	63,486	6.5
	国庫支出金	365,639	13.9	256,705	10.9	108,934	42.4
	村債	613,522	23.4	528,199	22.5	85,323	16.2
歳入合計		2,622,100	100.0	2,344,384	100.0	277,716	11.8
(注)	自主財源	547,061	20.9	541,081	23.1	5,980	1.1
	依存財源	2,075,039	79.1	1,803,303	76.9	271,736	15.1

出所：道志村資料

※構成比は少数1桁までの表示のため、合計と一致しないことがあります。

(注) 自主財源：村が自主的に得ることができる財源。村税など

依存財源：国・県支出金や地方譲与税、地方交付税など国や県の決定及び法律等に基づく財源

(3) 一般会計歳出決算（目的別）

平成27年度決算における本村の一般会計歳出状況を目的別に見ると、教育費が最も多く約7.5億円（構成比30.5%）であり、総務費が約3.3億円（13.2%）で続いています。

表3 一般会計歳出決算（目的別）

（単位＝額：千円、構成比・増減率：％）

区分	平成27年度		平成26年度		増減額 A-B	増減率 (A-B) /B
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比		
1 議会費	44,229	1.8	42,737	1.9	1,492	3.5
2 総務費	325,869	13.2	329,586	14.9	▲ 3,717	▲ 1.1
3 民生費	231,250	9.4	257,593	11.6	▲ 26,343	▲ 10.2
4 衛生費	103,939	4.2	104,872	4.7	▲ 933	▲ 0.9
5 農林業費	154,882	6.3	205,749	9.3	▲ 50,867	▲ 24.7
6 商工費	108,021	4.4	86,775	3.9	21,246	24.5
7 土木費	213,834	8.7	161,004	7.3	52,830	32.8
8 消防費	107,479	4.4	346,153	15.6	▲ 238,674	▲ 69.0
9 教育費	750,296	30.5	386,753	17.5	363,543	94.0
10 災害復旧費	28,088	1.1	3,106	0.1	24,982	804.3
11 公債費	277,310	11.3	274,369	12.4	2,941	1.1
12 諸支出金	118,459	4.8	13,943	0.6	104,516	749.6
歳出合計	2,463,656	100.0	2,212,640	100.0	251,016	11.3

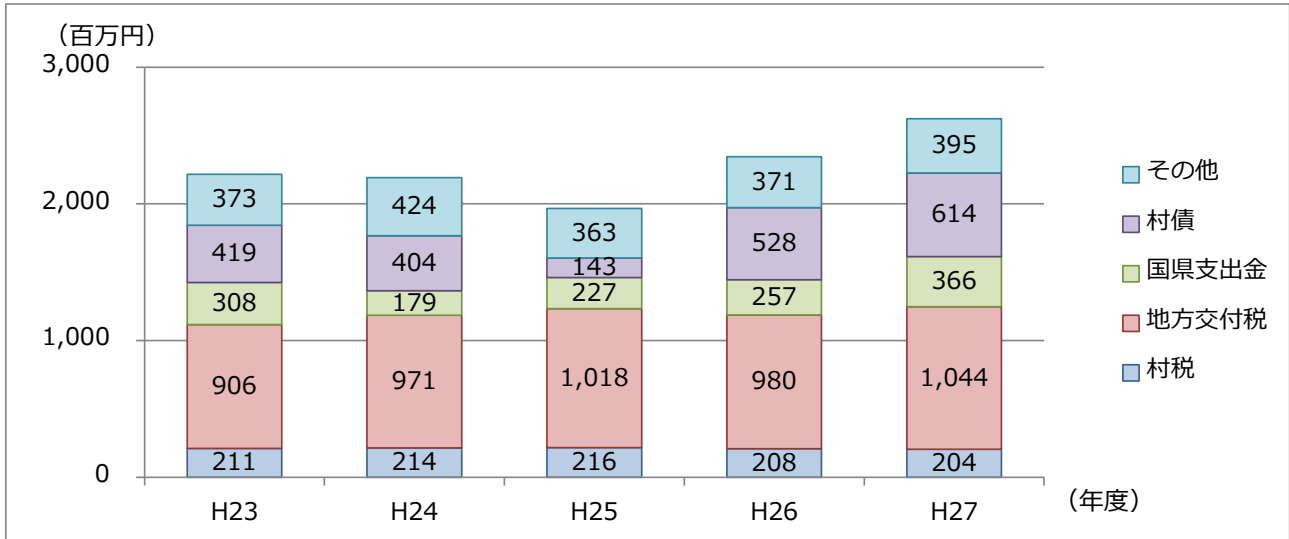
出所：道志村資料

※構成比は少数1桁までの表示のため、合計と一致しないことがあります。

(4) 一般会計歳入決算の推移

過去5年間の一般会計歳入決算の推移は図のとおりです。

過去5年間に於いて単純平均をとると、歳入合計は約22.7億円、最も多いのは地方交付税で約9.8億円、村税は約2.1億円となっています。

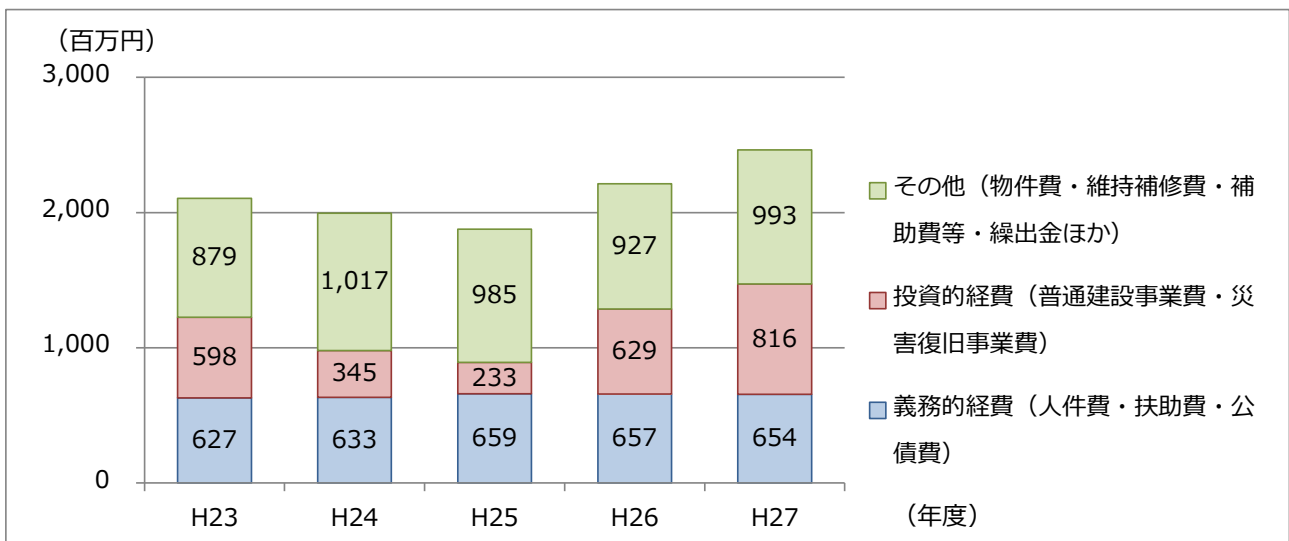


出所：道志村資料

図7 一般会計歳入決算の推移

(5) 一般会計歳出決算の推移

過去5年間の一般会計歳出決算の推移は図のとおりです。過去5年間に於いて単純平均をとると、歳出合計は約38.7億円となっています。また、投資的経費の平均は524百万円で、平成26年度、27年度は学校の建設等のため経費が大きくなっています。



出所：道志村資料

図8 一般会計歳出決算の推移

第三章

施設の現状と将来見通し

1 対象施設とその分類

(1) 対象施設の考え方

① 公共建築物

事業用資産として、本村の資産台帳に掲載されているすべての建築物(建物)を対象とします。建物が一つだけではなく、学校のように児童・生徒や職員等が主に利用する建物を複数有している場合や、倉庫や車庫などの付帯的な建物を有している場合があります。このような場合は、複数の建物それぞれを対象とします。

② インフラ施設

道路、橋りょう、上水道、浄化槽、光ケーブル施設で、それぞれ所管課の管理する台帳等により把握できる施設を対象とします。

本計画においては、上記の公共建築物及びインフラ施設で本村の所有する全ての施設を対象とします。

(2) 分析対象とした公共建築物一覧

分析対象とした公共建築物は、施設を構成する建物の中で、将来的な更新費用や管理等に大きな影響を与える建物等とします。これを、分類ごとに整理すると以下のとおりとなります。

表 4 対象施設一覧

大分類	中分類	No.	建物名	建築年度	延床面積(m ²)	構造(※2)	大規模改修年度	耐震診断	耐震補強	地上階数	地下階数		
住民文化系施設	集会施設	1	道志村中央公民館	1972	650	RC		実施済	不要	2	0		
		2	月夜野地区公民館	1974	116	W		未実施	未実施	1	0		
		3	川原畑生活改善センター	1977	159	W		未実施	未実施	1	0		
		4	神地林業集会场	1978	159	W		未実施	未実施	1	0		
		5	和出村地区公民館	1978	164	RC		未実施	未実施	1	0		
		6	集いの家	1986	197	W		不要	不要	1	0		
		7	善之木地区コミュニティセンター	2004	205	RC		不要	不要	1	0		
		8	水源の郷やまゆりセンター	2008	865	RC		不要	不要	2	0		
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	9	善之木体育館	1982	710	S		実施済	不要	1	0		
		10	唐沢体育館	1985	798	SRC		実施済	実施済	1	0		
		11	体育倉庫	1990	12	S		不要	不要	1	0		
		12	道志村スポーツプラザ屋内プール	1994	1,216	RC		不要	不要	1	0		
	レクリエーション施設・観光施設		13	道志村グリーンロッジ	1976	426	W		未実施	未実施	1	0	
			14	道志村交流活動センター	1977	429	S		実施済	不要	1	0	
			15	道志村水稲育苗センター	1979	208	S		未実施	未実施	1	0	
			16	室久保魚苗センター	1980	58	S		未実施	未実施	1	0	
			17	道志川溪流フィッシングセンター	1981	90	W		不要	不要	1	0	
			18	みなもと体験館	1985	560	SRC	2009	不要	不要	2	0	
			19	道志水源の森 郷土芸能保存伝承館(野外音楽堂)	1987	294	SRC		不要	不要	1	0	
			20	道志水源の森 生産物直売所	1987	222	S		不要	不要	1	0	
			21	道志水源の森 水車小屋	1987	20	W		不要	不要	1	0	
			22	道志森のコテージ 管理棟	1989	105	W		不要	不要	1	0	
			23	道志森のコテージ バンガロー(1号棟 15人用)	1990	54	W		不要	不要	1	0	
			24	道志森のコテージ バンガロー(2号棟 6人用)	1990	23	W		不要	不要	1	0	
			25	道志森のコテージ バンガロー(3号棟 4人用)	1990	13	W		不要	不要	1	0	
			26	道志森のコテージ バンガロー(5号棟 10人用)	1990	28	W		不要	不要	1	0	
			27	道志森のコテージ バンガロー(7号棟 4人用)	1990	13	W		不要	不要	1	0	
			28	道志森のコテージ バンガロー(8号棟 4人用)	1990	13	W		不要	不要	1	0	
			29	道志の湯	1991	507	S		2012	不要	不要	1	0
			30	道志森のコテージ バンガロー(6号棟 12人用)	1991	31	W		不要	不要	1	0	

大分類	中分類	No.	建物名	建築年度	延床面積 (m ²)	構造 (※2)	大規模改修年度	耐震診断	耐震補強	地上階数	地下階数
スポーツ・レクリエーション系施設	レクリエーション施設・観光施設	31	道志森のコテージ バンガロー(10号棟 10人用)	1991	25	W		不要	不要	1	0
		32	道志森のコテージ バンガロー(11号棟 10人用)	1991	28	W		不要	不要	1	0
		33	道志森のコテージ バンガロー(12号棟 10人用)	1991	28	W		不要	不要	1	0
		34	道志水源の森 ギャラリー水源の森	1993	381	W		不要	不要	1	0
		35	道志水源の森 公衆トイレ	1993	25	W		不要	不要	1	0
		36	道志村交流促進施設(道の駅)	1997	685	SRC		不要	不要	2	0
		37	道志村交流促進施設 外トイレ	1997	92	SRC		不要	不要	1	0
		38	道志村特産品加工施設	1998	140	W		不要	不要	1	0
		39	道志森のコテージ バンガロー(13号棟 8人用)	1999	36	W		不要	不要	1	0
		40	道志森のコテージ バンガロー(15号棟 8人用)	1999	36	W		不要	不要	1	0
		41	道志体験農園施設	2000	115	W		不要	不要	1	0
		42	道志水源の森 農林水産物直売 食材提供施設(そば道場)	2000	74	W		不要	不要	1	0
		43	道志村農林水産物処理加工施設豆腐加工所	2006	92	W		不要	不要	1	0
		44	みなもと体験館 がんどう庵	2009	70	W		不要	不要	1	0
学校教育系施設	学校	45	道志小学校(旧校舎)体育館	1979	769	Sその他		実施済	実施済	1	0
		46	道志小学校(旧校舎)	1981	1,795	RC		実施済	未実施	3	0
		47	道志中学校体育館	2010	1,161	Sその他		不要	不要	1	0
		48	道志中学校	2015	1,989	RC		不要	不要	2	0
		49	道志小学校	2016	2,173	RC		不要	不要	2	0
	その他教育施設	50	道志村学校給食センター	1992	217	Sその他		不要	不要	1	0
子育て支援施設	幼稚園・保育園・こども園	51	道志村保育所	1996	493	W		不要	不要	1	0
	幼児・児童施設	52	学童保育所どうしっこ	2016	123	W		不要	不要	1	0
保健・福祉施設	高齢福祉施設	53	道志村福祉センター	1995	596	S		不要	不要	1	0
医療施設	医療施設	54	道志村国民健康保険診療所・道志村国民健康保険歯科診療所	2009	413	S		不要	不要	1	0
行政系施設	庁舎等	55	道志村役場	1965	666	RC		実施済	未実施	2	0
		56	馬場詰所	不明	26	S		未実施	未実施	1	0
	消防施設	57	戸渡詰所	不明	21	コンクリートブロック		未実施	未実施	1	0
		58	川原畑詰所	不明	81	S		未実施	未実施	2	0
		59	白井平詰所	不明	30	コンクリートブロック		未実施	未実施	1	0
		60	月夜野詰所	1996	75	S		不要	不要	2	0
		61	神地詰所	1999	75	S		不要	不要	2	0
		62	久保詰所	2000	75	S		不要	不要	2	0
		63	防災備蓄倉庫(道志小学校)	2005	9	S		不要	不要	1	0
		64	防災備蓄倉庫(道志中学校)	2006	9	S		不要	不要	1	0
		65	椿詰所	2007	31	S		不要	不要	1	0

大分類	中分類	No.	建物名	建築年度	延床面積(m ²)	構造(※2)	大規模改修年度	耐震診断	耐震補強	地上階数	地下階数
行政系施設	消防施設	66	長又詰所	2007	21	S		不要	不要	1	0
		67	防災備蓄倉庫(みなもと体験館)	2007	9	S		不要	不要	1	0
		68	防災備蓄倉庫(やまゆりセンター)	2007	9	S		不要	不要	1	0
		69	防災備蓄倉庫(道の駅どうし)	2007	9	S		不要	不要	1	0
		70	都留市消防署 道志出張所	2009	116	S		不要	不要	2	0
		71	大室指ヘリポート	2009	0			不要	不要	1	0
		72	板橋詰所	2011	21	S		不要	不要	1	0
		73	防災備蓄倉庫(道志村国民健康保険診療所・道志村国民健康保険歯科診療所)	2012	7	W		不要	不要	1	0
		74	防災備蓄倉庫(道志村保育所)	2012	7	S		不要	不要	1	0
		75	防災備蓄倉庫(道志の湯)	2013	9	S		不要	不要	1	0
		76	防災備蓄倉庫(長又地区矢の根神社)	2013	9	S		不要	不要	1	0
		77	善之木詰所	2014	21	S		不要	不要	1	0
		78	大渡防災コミュニティセンター(防災備蓄倉庫兼一時避難所)	2015	51	その他		不要	不要	1	0
79	野原防災コミュニティセンター(防災備蓄倉庫兼一時避難所)	2016	46	その他		不要	不要	1	0		
村営住宅	村営住宅	80	池の原団地	1989	798	RC		不要	不要	3	0
		81	谷相団地	2005	253	W		不要	不要	2	0
		82	道志村若者定住促進住宅(1)	2010	195	W		不要	不要	2	0
		83	道志村若者定住促進住宅(2)	2011	195	W		不要	不要	2	0
公園	公園	84	竹之本公衆トイレ	1979	16	コンクリートブロック		未実施	未実施	1	0
		85	大室指公衆トイレ	1980	14	コンクリートブロック		未実施	未実施	1	0
		86	和出村公衆トイレ	1981	26	RC		不要	不要	1	0
		87	月夜野公衆トイレ	1984	14	コンクリートブロック		不要	不要	1	0
		88	久保公衆トイレ	1991	7	コンクリートブロック		不要	不要	1	0
		89	山ゆりの里農村公園公衆トイレ	1992	5	コンクリートブロック		不要	不要	1	0
		90	道志村林間広場 倉庫併設公衆トイレ	1992	36	RC		不要	不要	1	0
		91	室久保農村公園公衆トイレ	1996	8	W		不要	不要	1	0
その他	その他	92	馬場教員住宅	1980	79	W		未実施	未実施	1	0
		93	道志村医師住宅	1989	97	W	2009	不要	不要	2	0
		94	ハイツビックマロン	1993	713	RC		不要	不要	3	0
合計					23,783						

※ RC：鉄筋コンクリート造 SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造 S：鉄骨造 W：木造

2 施設の数量

(1) 公共建築物の用途別延床面積

本村の公共建築物の延床面積は 23,783m²であり、住民一人当たりの延床面積は、13.48 m²となります。これは、全国平均の 3.22m²に対して、419%ほどと高い値になっています。

建物の内訳を見ると、スポーツ・レクリエーション系施設（35.8%）が最も多く、以下、学校教育系施設（27.5%）、住民文化系施設（11.7%）が続いています。

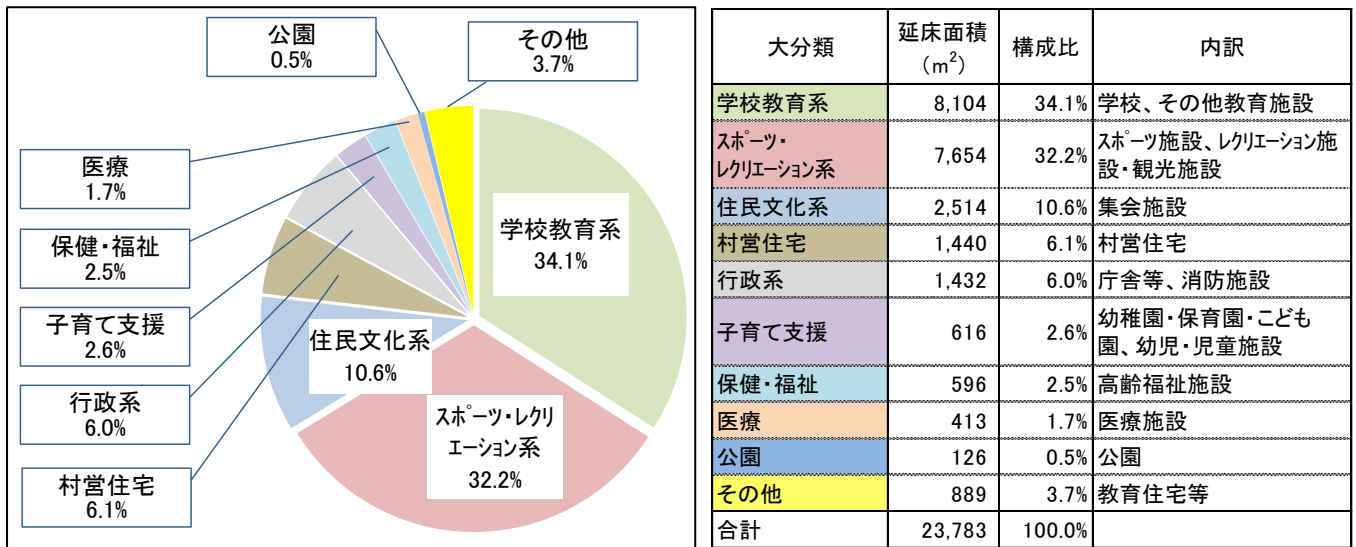


図 9 用途別の建物面積

(2) インフラ施設の保有状況

インフラ施設の保有状況については以下の通りです。

表 5 インフラ施設の概要

施設分類	総延長等
道路・橋りょう	◇村道 総延長 48,515m、舗装面積 126,815m ²
	◇林道 総延長 54,098m、舗装面積（算出値）70,862m ²
	◇橋りょう 73 橋（村道 48 橋、林道 16 橋、観光 9 橋）
上水道施設	◇管路 導水管 6,303m、送水管 441m、配水管 25,561m
	◇上水処理施設 建物延床面積 338m ² 、貯槽延床面積 365m ²
浄化槽	◇浄化槽 539 件
	◇排水管 499 件
光ケーブル	◇LGWAN 回線 総延長 82 km

3 公共建築物の現状と更新費用の将来見通し

(1) 公共建築物の現状

① 建築年度別整備状況

公共建築物の整備状況を築年別に見ると、最も古い施設（不明のものを除く）は、1965年度に建設された役場庁舎となっています。その後、1972年度に中央公民館、1979年度に道志小学校体育館、1981年度に道志小学校等が建築されています。

以降、1982年度に善之木体育館、1985年度に唐沢体育館・みなもと体験館、1991年度に道志の湯、1994年度に屋内プール、1997年度に道の駅など、スポーツ・レクリエーション系施設の整備面積が大きくなっています。

2001年以降は、一時、大規模な施設の建設は少なくなりましたが、2008年度にやまゆりセンター、2010年度に道志中学校体育館、2015年度に道志中学校、2016年度に道志小学校と、規模の大きな施設が整備されています。

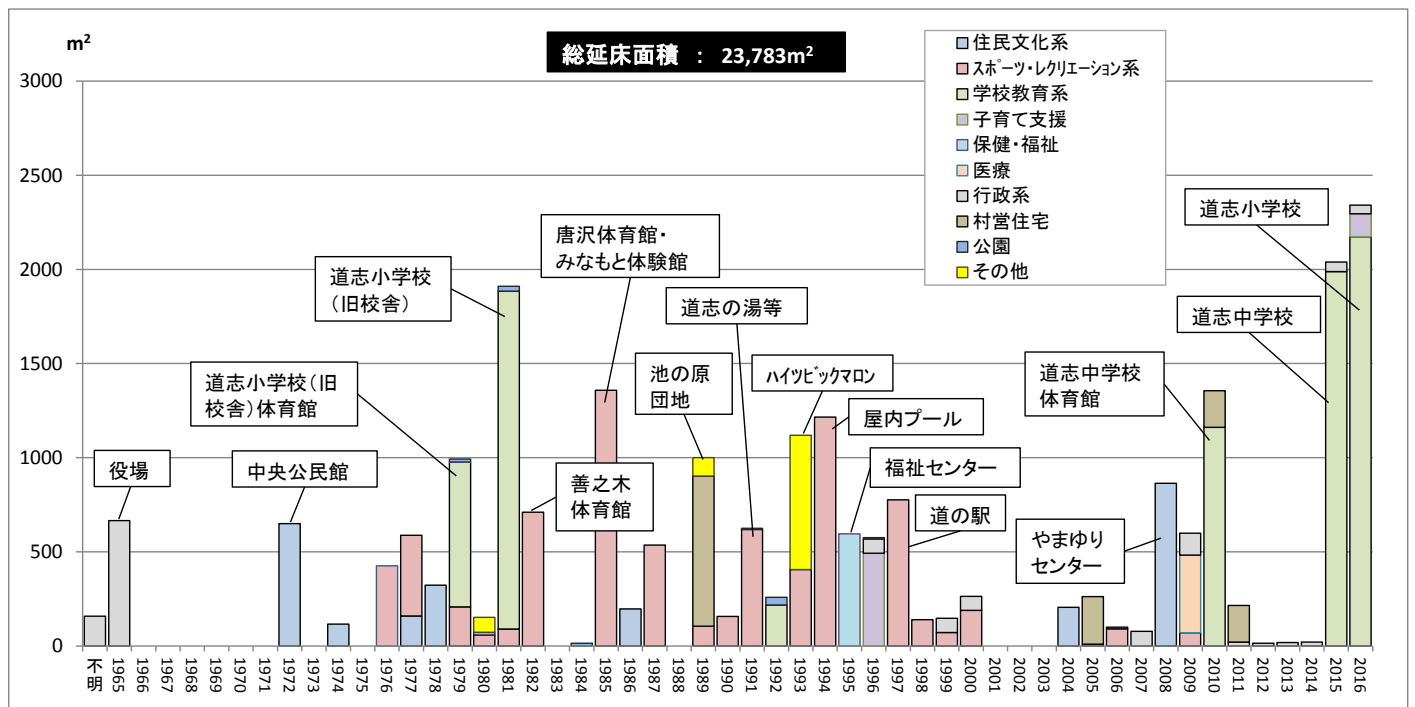


図 10 年度別の公共建築物整備面積

表 6 年度別の公共建築物整備面積

建築年度	大分類	建物名	施設延床面積(m ²)	延床面積計(m ²)	耐震状況
不明	行政系	馬場詰所	26	159	未実施
	行政系	戸渡詰所	21		未実施
	行政系	川原畑詰所	81		未実施
	行政系	白井平詰所	30		未実施
1965	行政系	道志村役場	666	666	未実施
1972	住民文化系	道志村中央公民館	650	650	改修不要
1974	住民文化系	月夜野地区公民館	116	116	未実施
1976	スポーツ・レクリエーション系	道志村グリーンロッジ	426	426	未実施
1977	住民文化系	川原畑生活改善センター	159	588	未実施
	スポーツ・レクリエーション系	道志村交流活動センター	429		改修不要
1978	住民文化系	神地林業集会場	159	323	未実施
	住民文化系	和出村地区公民館	164		未実施
1979	スポーツ・レクリエーション系	道志村水稻育苗センター	208	993	未実施
	学校教育系	道志小学校(旧校舎)体育館	769		実施済
	公園	竹之本公衆トイレ	16		未実施
1980	スポーツ・レクリエーション系	室久保魚苗センター	58	151	未実施
	公園	大室指公衆トイレ	14		未実施
	その他	馬場教員住宅	79		未実施
1981	スポーツ・レクリエーション系	道志川溪流フィッシングセンター	90	1,911	新耐震基準
	学校教育系	道志小学校(旧校舎)	1,795		未実施(新耐震基準だが耐力度調査の結果必要)
	公園	和出村公衆トイレ	26		新耐震基準
1982	スポーツ・レクリエーション系	善之木体育館	710	710	改修不要
1984	公園	月夜野公衆トイレ	14	14	新耐震基準
1985	スポーツ・レクリエーション系	唐沢体育館	798	1,358	実施済
	スポーツ・レクリエーション系	みなもと体験館	560		新耐震基準
1986	住民文化系	集いの家	197	197	新耐震基準
1987	スポーツ・レクリエーション系	道志水源の森 郷土芸能保存伝承館(野外音楽堂)	294	535	新耐震基準
	スポーツ・レクリエーション系	道志水源の森 生産物直売所	222		新耐震基準
	スポーツ・レクリエーション系	道志水源の森 水車小屋	20		新耐震基準
1989	スポーツ・レクリエーション系	道志森のコテージ 管理棟	105	1,000	新耐震基準
	村営住宅	池の原団地	798		新耐震基準
	その他	道志村医師住宅	97		新耐震基準
1990	スポーツ・レクリエーション系	体育倉庫	12	157	新耐震基準
	スポーツ・レクリエーション系	道志森のコテージ バンガロー(1号棟 15人用)	54		新耐震基準
	スポーツ・レクリエーション系	道志森のコテージ バンガロー(2号棟 6人用)	23		新耐震基準
	スポーツ・レクリエーション系	道志森のコテージ バンガロー(3号棟 4人用)	13		新耐震基準
	スポーツ・レクリエーション系	道志森のコテージ バンガロー(5号棟 10人用)	28		新耐震基準
	スポーツ・レクリエーション系	道志森のコテージ バンガロー(7号棟 4人用)	13		新耐震基準
	スポーツ・レクリエーション系	道志森のコテージ バンガロー(8号棟 4人用)	13		新耐震基準
1991	スポーツ・レクリエーション系	道志の湯	507	625	新耐震基準
	スポーツ・レクリエーション系	道志森のコテージ バンガロー(6号棟 12人用)	31		新耐震基準
	スポーツ・レクリエーション系	道志森のコテージ バンガロー(10号棟 10人用)	25		新耐震基準
	スポーツ・レクリエーション系	道志森のコテージ バンガロー(11号棟 10人用)	28		新耐震基準
	スポーツ・レクリエーション系	道志森のコテージ バンガロー(12号棟 10人用)	28		新耐震基準
	公園	久保公衆トイレ	7		新耐震基準

建築年度	大分類	建物名	施設延床面積(m ²)	延床面積計(m ²)	耐震状況
1992	学校教育系	道志村学校給食センター	217	258	新耐震基準
	公園	山ゆりの里農村公園公衆トイレ	5		新耐震基準
	公園	道志村林間広場 倉庫併設公衆トイレ	36		新耐震基準
1993	スポーツ・レクリエーション系	道志水源の森 ギャラリー水源の森	381	1,119	新耐震基準
	スポーツ・レクリエーション系	道志水源の森 公衆トイレ	25		新耐震基準
	その他	ハイツビックマロン	713		新耐震基準
1994	スポーツ・レクリエーション系	道志村スポーツプラザ屋内プール	1,216	1,216	新耐震基準
1995	保健・福祉	道志村福祉センター	596	596	新耐震基準
1996	子育て支援	道志村保育所	493	576	新耐震基準
	行政系	月夜野詰所	75		新耐震基準
	公園	室久保農村公園公衆トイレ	8		新耐震基準
1997	スポーツ・レクリエーション系	道志村交流促進施設(道の駅)	685	777	新耐震基準
	スポーツ・レクリエーション系	道志村交流促進施設 外トイレ	92		新耐震基準
1998	スポーツ・レクリエーション系	道志村特産品加工施設	140	140	新耐震基準
1999	スポーツ・レクリエーション系	道志森のコテージ パンガロー(13号棟 8人用)	36	147	新耐震基準
	スポーツ・レクリエーション系	道志森のコテージ パンガロー(15号棟 8人用)	36		新耐震基準
	行政系	神地詰所	75		新耐震基準
2000	スポーツ・レクリエーション系	道志体験農園施設	115	264	新耐震基準
	スポーツ・レクリエーション系	道志水源の森 農林水産物直売 食材提供施設(そば道場)	74		新耐震基準
	行政系	久保詰所	75		新耐震基準
2004	住民文化系	善之木地区コミュニティーセンター	205	205	新耐震基準
2005	行政系	防災備蓄倉庫(道志小学校)	9	262	新耐震基準
	村営住宅	谷相団地	253		新耐震基準
2006	スポーツ・レクリエーション系	道志村農林水産物処理加工施設豆腐加工所	92	100	新耐震基準
	行政系	防災備蓄倉庫(道志中学校)	9		新耐震基準
2007	行政系	樁詰所	31	78	新耐震基準
	行政系	長又詰所	21		新耐震基準
	行政系	防災備蓄倉庫(みなもと体験館)	9		新耐震基準
	行政系	防災備蓄倉庫(やまゆりセンター)	9		新耐震基準
	行政系	防災備蓄倉庫(道の駅どうし)	9		新耐震基準
2008	住民文化系	水源の郷やまゆりセンター	865	865	新耐震基準
2009	スポーツ・レクリエーション系	みなもと体験館 がんどう庵	70	599	新耐震基準
	医療	道志村国民健康保険診療所・道志村国民健康保険歯科診療所	413		新耐震基準
	行政系	都留市消防署 道志出張所	116		新耐震基準
	行政系	大室指ヘリポート	0		新耐震基準
2010	学校教育系	道志中学校体育館	1,161	1,356	新耐震基準
	村営住宅	道志村若者定住促進住宅(1)	195		新耐震基準
2011	行政系	板橋詰所	21	215	新耐震基準
	村営住宅	道志村若者定住促進住宅(2)	195		新耐震基準
2012	行政系	防災備蓄倉庫(道志村国民健康保険診療所・道志村国民健康保険歯科診療所)	7	14	新耐震基準
	行政系	防災備蓄倉庫(道志村保育所)	7		新耐震基準
2013	行政系	防災備蓄倉庫(道志の湯)	9	18	新耐震基準
	行政系	防災備蓄倉庫(長又地区矢の根神社)	9		新耐震基準
2014	行政系	善之木詰所	21	21	新耐震基準
2015	学校教育系	道志中学校	1,989	2,040	新耐震基準
	行政系	大渡防災コミュニティセンター(防災備蓄倉庫兼一時避難所)	51		新耐震基準
2016	学校教育系	道志小学校	2,173	2,342	新耐震基準
	子育て支援	学童保育所どうしっこ	123		新耐震基準
	行政系	野原防災コミュニティセンター(防災備蓄倉庫兼一時避難所)	46		新耐震基準
合計			23,783	23,783	

② 公共建築物の耐震状況

1982年度以降に建築された施設は、新耐震基準に従っており耐震化されています。1981年度以前に建築された施設で耐震化実施済、もしくは改修不要のものを除いた延床面積は4,018m²であり、全体の16.9%となっています。

内訳は役場庁舎、道志村グリーンロッジ、道志小学校（旧校舎）などです。

これら耐震化未実施の施設に関しては、建物の老朽化の状況や利用状況を踏まえ、取り壊しや統廃合を行い、耐震化未実施延床面積を減らしていきます。

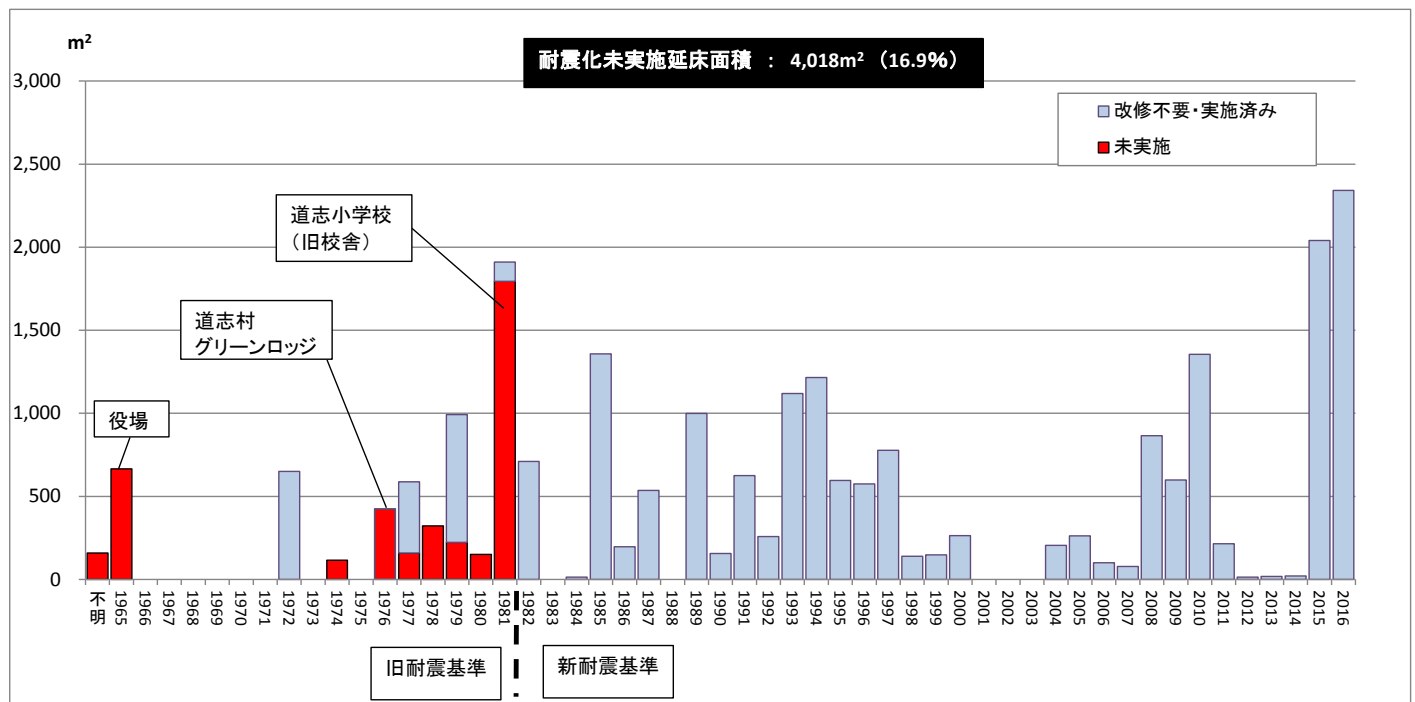


図 11 耐震化状況

(2) 公共建築物の更新費用の将来見通し

① 更新費用の試算

本村が所有する公共建築物について、建築時から30年後に大規模改修を実施し、60年後に現状規模のまま建替えを行うと想定した場合(詳細については②参照)、今後40年間で約95.1億円の投資的経費を要し、40年間で平均すると、毎年約2.4億円かかる試算となりました。これは、平成27年度の本村における土木費2.1億円を上回る大きさです。

役場の更新や屋内プールの大規模改修が想定される2025年度頃や、2040年頃、2046年頃、2055年頃に、更新費用が大きくなる試算結果になっています。

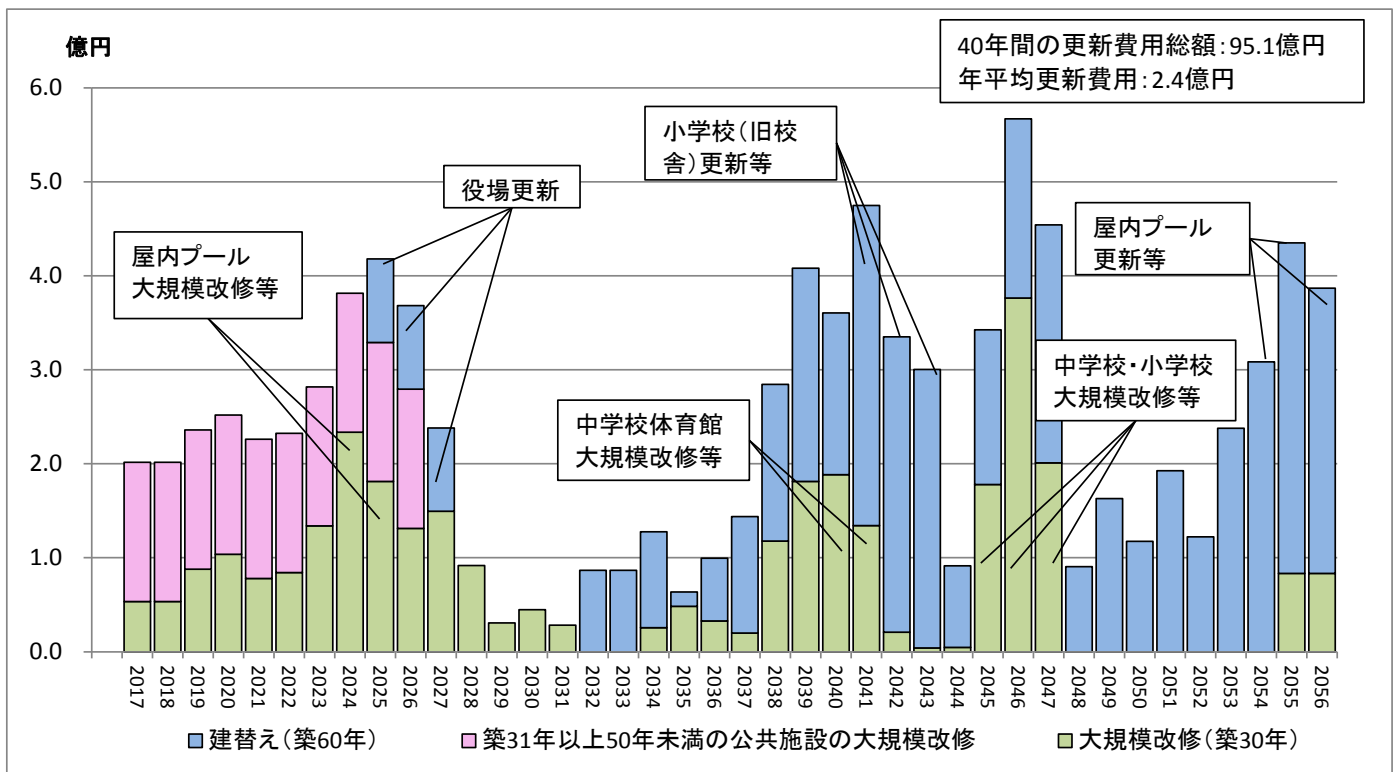


図 12 公共建築物の更新費用

② 更新費用試算の前提条件

建築時から30年後に大規模改修を実施し、更新年数経過後に現在と同じ延床面積等で更新すると仮定し、

「延床面積 × 更新単価」

によって更新費用を算出しました。

●更新年数

日本建築学会「建物の耐久計画に関する考え方」を参考に、標準的な耐用年数とされる60年を採用することとする。

●更新単価

総務省公共施設等更新費用試算ソフトの用途別単価を適用することとする。

表 7 用途別の単価

(単位：万円/m²)

施設	大規模改修	建替え
住民文化系、社会教育系、行政系、医療施設	25	40
スポーツ・レクリエーション系、保健・福祉施設	20	36
学校教育系、子育て支援施設、公園	17	33
村営住宅	17	28
その他	20	36

●費用を計上する年度

- ・大規模改修：当該年度および翌年度の2年間で案分
- ・更新：当該年度および翌年度、翌々年度の3年間で案分
- ・経過年数が31年以上50年までのもの：
 - 今後10年間で均等に大規模改修を行うとして計算
- ・経過年数が51年以上のもの：
 - 建替え時期が近いので、大規模改修は行わずに建替えるものとして計算

※建設年度が不明の箇所に関しては、最も古い箇所と同じ建設年度と想定して試算

4 インフラ施設の現状と更新費用の将来見通し

(1) 道路

① 整備状況

本村が管理している村道の総延長は 48,515 (m)、舗装面積は 126,815 (m²) です。

表 8 村道の整備状況

路線番号	路線名	延長(m)	面積(m ²)	舗装面積(m ²)	路線番号	路線名	延長(m)	面積(m ²)	舗装面積(m ²)
1	久保～秋山線	2,200	9,699	9,471	138	葦沢線	782	2,230	
2	谷相～池の原線	497	2,261	2,261	139	池之原線	178	985	985
51	月夜野線	890	3,555	3,555	140	中尾線	160	568	568
52	中入～小善地線	1,711	8,033	8,020	141	小室久保線	23	96	96
53	馬場線	516	2,141	2,141	142	下村線	85	261	261
54	戸渡～谷相線	753	3,366	3,366	143	寺ノ下～大指線	299	1,155	1,155
55	室久保線	4,474	23,542	14,907	144	宮ノ沢線	522	1,541	22
56	吉原線	72	388	388	145	菜畑線	3,472	13,880	13,542
101	月夜野～秋山線	2,284	3,441		146	釜の前～野竹沢線	1,152	4,172	4,172
102	月夜野環状線	474	1,543	1,543	147	馬橋線	55	260	260
103	下ばけ線	60	165	165	148	滝原線	720	2,560	2,560
104	西原線	117	371	371	149	下石原線	222	466	126
105	宮ノ沢～子ツ沢線	146	781	170	150	石原線	458	1,668	1,241
106	大渡線	148	392	392	152	平久住線	325	1,102	943
107	大渡中線	238	586	62	153	山奥線	238	533	
108	向平線	241	527	291	154	登坂線	307	599	233
109	久保西線	92	238	187	155	神地～道坂線	292	551	
110	笹久根線	407	1,661	1,647	156	宮の上線	357	563	
111	七滝線	669	3,134	3,134	157	道坂線	345	1,030	934
112	大室指線	517	2,252	2,252	158	神地沢線	441	816	
114	大羽根線	453	739		159	下中山線	365	608	19
116	大椿線	400	1,185	925	160	神地向線	337	1,121	1,121
117	椿～椿沢線	326	744	492	161	ムジナ線	679	2,568	2,568
119	湯本線	229	567	308	162	向山線	925	3,476	
120	荒井沢線	137	424	39	163	奥三ヶ瀬線	900	3,349	1,610
121	大栗～赤倉沢線	1,572	3,448	1,723	164	中山～三ヶ瀬線	907	4,128	4,128
122	大栗線	40	122	122	165	善之木～三ヶ瀬線	707	3,619	3,619
123	馬場内中央線	99	226	171	166	下善之木線	99	182	
124	細入～馬場線	547	841		167	善之木～水の元線	288	985	985
125	田代線	541	2,308	842	168	津島神社線	26	113	113
126	竹之本～宮の沢線	373	1,386	1,386	169	草久保線	103	271	271
127	竹之本線	101	281	153	170	板橋線	688	2,205	2,205
128	大川戸線	64	166	34	171	堰口線	423	1,624	934
129	向原線	213	784	784	172	白井平～唐沢線	1,491	2,805	33
131	的場線	104	360	296	173	白井平線	138	584	584
133	御堂沢線	244	1,037	505	175	間沢線	125	513	476
134	大久保線	867	1,753	526	176	長又向線	96	199	47
135	岩瀬～谷相線	803	3,198	3,198	177	鳥屋沢線	238	1,145	1,094
136	御岳線	137	622	622	178	西向線	712	2,265	
137	境沢線	60	271	271	179	長又平線	542	1,926	

路線番号	路線名	延長(m)	面積(m ²)	舗装面積(m ²)
180	長沢線	542	2,016	
181	野原線	389	983	502
182	池の原～室久保線	378	724	
183	三ヶ瀬線	137	585	585
184	平成線	36	107	107
185	富士見線	106	472	472
186	道坂天神線	230	1,224	1,224
187	栗原線	31	78	78
188	笹久根～久保線	346	2,767	2,767
189	もてなし線	209	814	814
190	菅指1号線	92	494	494
191	堰口2号線	172	661	228
192	岩瀬線	287	794	407
193	御正体線	438	2,000	2,000
194	下向線	665	2,234	2,234
195	道坂上線	129	530	530
196	久保線	95	440	440
197	蜂久保線	206	700	308
合計		48,515	174,885	126,815

林道の整備状況は次表のとおりです。

表 9 林道の整備状況

幅員	延長(m)	舗装延長(m)	舗装面積算出(m ²)
4.0m以上	5,715	5,595	22,380
3.0m	29,764	9,692	29,076
2.0m	18,585	9,703	19,406
1.8m	34	0	0
合計	54,098	24,990	70,862

農道の整備状況は次表のとおりです。

表 10 農道の整備状況

路線番号	延長(m)	農道面積 (m ²)	舗装面積 (m ²)
1	164	519	154
2	111	149	0
3	319	253	7
4	256	1,032	32
5	111	310	244
6	245	923	801
7	143	104	0
8	108	129	0
9	165	597	516
10	297	571	19
11	190	792	697
12	743	3,270	2,853
13	122	335	0
14	197	550	0
15	392	1,589	476
16	171	198	0
17	357	1,207	1,028
18	95	405	46
19	245	779	495
20	83	280	238
21	197	662	522
22	372	1,336	1,152
23	154	621	17
24	74	200	87
25	283	1,180	625
26	85	349	308
27	490	1,533	1,292
28	30	113	98
29	20	45	45
30	99	322	237
31	55	177	150
32	205	676	215
33	139	454	385
34	72	248	212
35	127	423	359
36	144	563	496
37	467	1,623	1,430
38	412	1,556	1,350
39	217	763	654
40	108	322	282
41	346	1,123	950
42	210	858	608
43	299	1,093	943
45	80	284	0
46	756	2,637	2,271
47	87	261	59
48	58	212	30
49	166	538	455
50	407	1,352	1,149
51	115	344	5
52	925	3,786	3,317
54	61	289	258
55	107	413	360
57	142	538	467
58	86	321	275
59	86	396	342
60	90	325	0
61	42	92	71
62	889	4,213	3,538
63	298	1,453	1,174
64	137	479	315
65	578	2,620	2,344
66	156	1,149	823
67	127	524	397
68	153	601	126
69	248	974	850
70	217	916	808
71	77	302	70
72	136	556	488
73	185	682	535
74	212	987	378
75	60	240	0
76	239	1,164	1,038
77	795	3,622	3,232
78	160	545	455
79	647	2,727	2,403
80	94	350	0
81	243	778	647
82	153	700	624
83	128	501	501
合計	18,252	68,102	49,829

② 将来の更新費用の見通し

今後、40年間の更新費用総額は15.5億円と推計され、年平均更新費用は3,878万円となります。

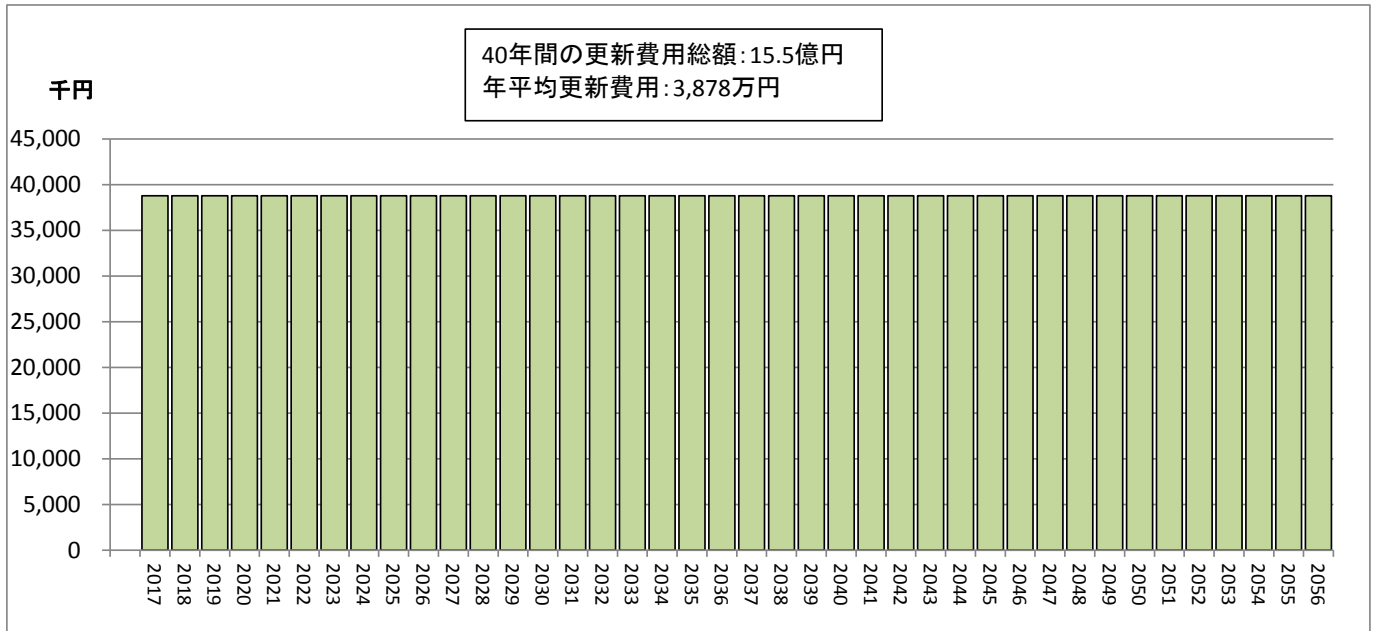


図 13 道路の更新費用

道路に関しては、路線ごとに一度に更新するものではなく区間ごとに更新していくため、年度別に詳細な更新費用を把握するのではなく、更新対象面積を舗装部分の更新（打換え）年数で割ったものを、1年間の更新量と仮定し、

「対象舗装面積を更新年数で割った面積 × 更新単価」
 によって1年間の更新費用を算出しました。

●更新年数

本村での実態にあわせ、30年を採用することとする。

●更新単価

総務省公共施設等更新費用試算ソフトの単価を適用し、4,700円/m²とする。

(2) 橋りょう

① 整備状況

本村が管理している橋りょうは74件あり、総面積は5,831m²です。そのうち、48本が村道に、10本が農道に、16本が林道にかかる橋、9本は観光用の橋となっています。

表 11 橋りょうの整備状況概要

種別	数量(本)	面積(m ²)
村道	48	3,010
農道	10	1,940
林道	16	881
観光	9	805
合計	83	6,636

表 12 橋りょうの整備状況(林道)

No.	橋名	路線名	所在地	架設年次	橋長(m)	径間数	幅員(m)				面積(m ²)
							車道	路肩	有効幅員	総幅員	
1	樁二の橋	樁線	道志村字大室指地内	昭和47年	14.4	1	3.6		3.6	4.3	51.84
2	樁三の橋	樁線	道志村字大羽根地内	昭和63年	16.5	1	3.0		3.0	3.8	49.50
3	樁沢橋	樁線	道志村字小椿地内	平成6年	17.4	1	3.0		3.0		52.20
4	柿平橋	戸渡線	道志村字小善地地内	昭和46年	10.0	1	3.6		3.6	4.4	36.00
5	落合橋	西沢線	道志村字田代地内	昭和51年	20.5	1	3.6		3.6		73.80
6	水晶橋	西沢線	道志村字竹の本地内	昭和54年	16.0	1	4.0		4.0		64.00
7	無名	掛水線	道志村字池之原地内	昭和58年	8.5	1	4.0		4.0		34.00
8	無名	御正体線	道志村字小室久保地内	昭和44年	11.8	1	3.6				42.48
9	無名	御正体線	道志村字中尾地内	昭和46年	6.8	1	3.6		3.6	3.9	24.48
10	ずさ天橋	桐久保線	道志村字室久保地内	昭和56年	20.0	1	4.0		4.0	4.4	80.00
11	道坂橋	道坂線	道志村字室久保地内	昭和62年	15.5	1	3.0		3.0	3.6	46.50
12	入道沢橋	富士東部(南)線	道志村字谷相地内	昭和61年	11.4	1	5.0		6.0	6.7	57.00
13	赤倉沢橋	富士東部(南)線	道志村字滝原地内	不明	14.5	1	5.0		5.5	6.1	72.50
14	細入橋	田代樁線	道志村字石原地内	昭和50年	14.5	1	3.0		3.0	3.8	43.50
15	平成橋	田代線	道志村字矢崎地内	平成7年	25.8	1	4.0		4.0	5.0	103.20
16	魚止橋	越路線	道志村字矢崎地内	昭和52年	12.6	1	4.0		4.0	4.8	50.40
	合計										881.40

表 13 橋りょうの整備状況(農道)

No.	路線番号	区割線番号	橋長(m)	面積(m ²)
1	12	20	80.0	320.00
2	32	1000	35.0	105.00
3	37	60	32.1	96.30
4	37	370	42.1	147.35
5	40	100	28.4	79.52
6	52	280	16.2	64.80
7	65	160	25.0	100.00
8	66	20	110.0	770.00
9	77	60	27.6	118.68
10	82	30	34.5	138.00
		合計	430.90	1,939.65

表 14 橋りょうの整備状況（村道）

No.	名称	現況面積(m ²)	台帳面積(m ²)	取得価額(円) ※不明の場合は0	建設年月日
1	谷相橋	89.20	89.20	12,400,000	1971年3月31日
2	砂原橋	106.60	106.60	12,700,000	1972年3月31日
3	椿沢橋	44.00	44.00	5,500,000	1971年3月31日
4	千代橋	133.00	133.00	19,000,000	1967年12月31日
5	櫓沢橋	28.80	28.80	6,400,000	1971年3月31日
6	池之原橋	142.20	142.20	20,320,000	1974年3月31日
7	一之橋	162.40	162.40	14,250,000	1998年3月31日
8	白石橋	161.20	161.20	12,800,000	1998年3月31日
9	岩花橋	55.80	55.80	12,400,000	1973年3月31日
10	曲沢橋	19.20	19.20	3,840,000	1967年3月31日
11	割石橋	28.00	28.00	5,600,000	1967年3月31日
12	白鳥橋	28.80	28.80	5,760,000	1967年3月31日
13	石原橋	113.00	113.00	0	不明
14	上沢橋	3.40	3.40	0	不明
15	後沢橋	5.80	5.80	0	不明
16	宮下橋	43.20	43.20	7,680,000	1959年3月31日
17	子沢橋	49.90	49.90	8,800,000	1962年5月31日
18	大室橋	120.00	120.00	20,000,000	1978年3月31日
19	柳瀬橋	115.50	115.50	26,400,000	1969年2月28日
20	金山橋	5.70	5.70		1981年3月31日
21	池之下橋	7.20	7.20	0	不明
22	田代橋	74.80	74.80	18,720,000	1968年11月30日
23	大川戸橋	136.00	136.00	17,000,000	1972年3月31日
24	御岳橋	19.40	19.40	0	不明
25	小室久保橋	77.00	77.00	17,120,000	1972年2月28日
26	馬橋	102.20	102.20	22,720,000	1968年3月31日
27	住吉橋	28.20	28.20	0	不明
28	中之沢橋	3.70	3.70	54,000	1978年7月31日
29	中山橋	230.40	230.40	25,600,000	2009年6月30日
30	むじな橋	38.60	38.60	5,520,000	2010年3月31日
31	堤橋	55.20	55.20	14,720,000	1973年3月31日
32	水之元橋	11.40	11.40	0	不明
33	三正橋	28.50	28.50	0	不明
34	善之木橋	123.60	123.60	24,720,000	1972年3月31日
35	前ノマ橋	10.50	10.50	2,400,000	1982年3月31日
36	中ノマ橋	17.70	17.70	3,840,000	1982年3月31日
37	橋元橋	69.00	69.00	18,400,000	1999年8月31日
38	マオ一沢橋	34.30	34.30	7,840,000	1988年3月31日
39	長田橋	14.40	14.40	3,840,000	1987年3月31日
40	板橋	102.00	102.00	20,400,000	1971年3月31日
41	白井橋	73.80	73.80	16,400,000	1971年3月31日
42	間沢橋	29.10	29.10	6,480,000	1992年3月31日
43	向橋	34.70	34.70	15,440,000	1993年3月31日
44	油沢橋	4.00	4.00	0	不明
45	長沢橋	66.20	66.20	14,720,000	1973年3月31日
46	鳥屋橋	24.70	24.70	13,440,000	1999年3月31日
47	御正体橋	37.60	37.60	0	不明
48	上善橋	100.00	100.00		2006年5月31日
	合計	3,009.90	3,009.90		

表 15 橋りょうの整備状況（観光）

No.	橋名	路線名	所在地	架設年次	橋長 (m)	径間 数	幅員(m)		面積 (m ²)	種類	備考
							有効幅員	総幅員			
1	野原の吊り橋		道志村字野原地内	昭和57年	76.0	1	1.5	1.9	144.40	吊り橋	野原の吊り橋
2	久保の吊り橋		道志村字久保地内	昭和61年	71.0	1	1.3	1.8	127.80	吊り橋	久保の吊り橋
3	かつば橋	神地向線	道志村字神地地内	平成12年	35.5	1	1.5	2.4	85.20	吊り橋	かつば橋[道の駅]
4	水源橋	馬場線	道志村字馬場地内	昭和62年	45.0	1	1.8	3.1	139.50	木橋	水源橋[水源の森:進入路]
5	護安橋		道志村字馬場地内	昭和62年	27.5	1	1.8	3.1	85.25	木橋	護安橋[水源の森:ハベ-キュー-場遊歩道]
6	修心橋	向原線		昭和62年	27.0	1	2.2	3.4	91.80	不明	修心橋[水源の森:大栗~馬場遊歩道]
7	未名	向山線	道志村字神地地内	平成12年	12.9	1	2.0	2.3	29.67	木橋	神地ふれあい遊歩道
8	未名		道志村字久保地内	不明	28.0	1	1.3	1.8	50.40	吊り橋	笹久根の吊り橋[笹久根堰堤]
9	未名	室久保線	道志村字室久保地内	平成9年	19.0	1	2.6	2.7	51.30	木橋	室久保農村公園
	合計								805.32		

② 将来の更新費用の見通し

今後、40年間の更新費用総額は17.4億円と推計され、年平均更新費用は4,354万円となります。

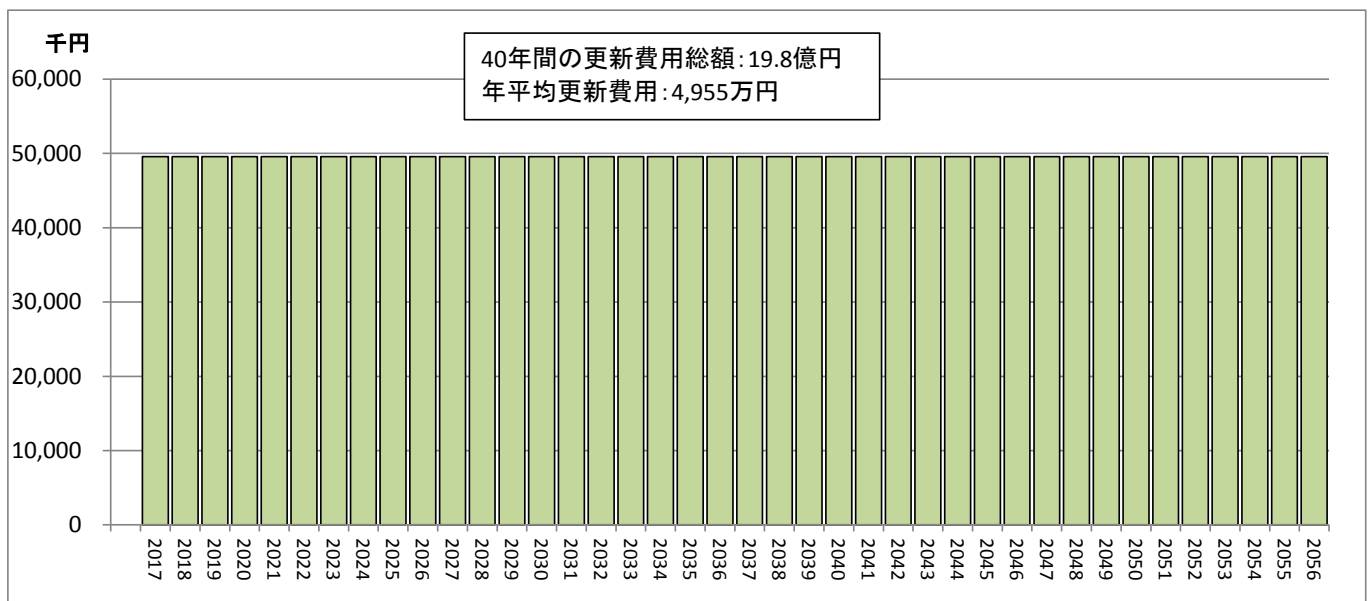


図 14 橋りょうの更新費用

現状の総面積を更新年数で割った面積を1年間の更新量と仮定し、

「対象面積を更新年数で割った面積 × 更新単価」

によって算出しました。

●更新年数

法定耐用年数の60年を採用することとする。

●更新単価

総務省公共施設等更新費用試算ソフトの単価を適用し、448千円/m²とする。

(3) 上水道

① 整備状況

上水道関連施設として、管路・建物・施設（機械含む）に関して整理します。

表 16 上水道施設（管路）整備延長

地区	管種	用途	延長(m)	備考	
白井平 簡易水道	鑄鉄管	導水管	0		
		送水管	0		
		配水管	0		
	鋼管	導水管	0		
		送水管	0		
		配水管	0		
	硬質塩化 ビニル管	導水管	708		50mm
		送水管	0		
		配水管	1,680		100mm=627m 75mm=1,053m
	ポリエチレン管	導水管	0		
送水管		0			
配水管		0			
板橋善之木 簡易水道	鑄鉄管	導水管	0		
		送水管	0		
		配水管	0		
	鋼管	導水管	0		
		送水管	0		
		配水管	0		
	硬質塩化 ビニル管	導水管	550		50mm=550m
		送水管	0		
		配水管	2,378		125mm=155m 100mm=1,455m 75mm=768m
	ポリエチレン管	導水管	1,870		40mm=1,870m
送水管		0			
配水管		0			
神地川原畑 簡易水道 神地給水区	鑄鉄管	導水管	0		
		送水管	0		
		配水管	0		
	鋼管	導水管	0		
		送水管	0		
		配水管	148		150mm=66.9m 100mm=22m 75mm=22m 50mm=26.9m 30mm=10.4m全てステンレス鋼管
	硬質塩化 ビニル管	導水管	0		
		送水管	0		
	ポリエチレン管	配水管	6,554.9		150mm=1884.9m 100mm=1652.1m 75mm=1773.6m 50mm=1229.2m 30mm=15.1m
		導水管	300		75mm=300m
送水管		0			
神地川原畑 簡易水道 川原畑給水区	鑄鉄管	配水管	241	30mm=106.2m 25mm=134.8m	
		導水管	0		
		送水管	0		
鋼管	導水管	0			
	送水管	0			
	配水管	0			
硬質塩化 ビニル管	導水管	10		75mm=10m	
	送水管	0			
	配水管	2,475		150mm=445m 75mm=2,030m	
ポリエチレン管	導水管	0			
	送水管	0			
	配水管	0			

地区	管種	用途	延長(m)	備考	
長幡簡易水道 第1給水区	鑄鉄管	導水管	0		
		送水管	0		
		配水管	0		
	鋼管	導水管	0		50mm=12m
		送水管	12		
		配水管	155		125mm=14m 75mm=141m
	硬質塩化 ビニル管	導水管	350		75mm=350m
		送水管	0		
		配水管	3,315		125mm=674m 100mm=862m 75mm=1,779m
	ポリエチレン管	導水管	0		
		送水管	0		
		配水管	0		
長幡簡易水道 第2給水区	鑄鉄管	導水管	0		
		送水管	0		
		配水管	0		
	鋼管	導水管	0		
		送水管	0		
		配水管	1,339		150mm=27m 100mm=1,222m 75mm=90m
	硬質塩化 ビニル管	導水管	740		100mm=350m 50mm=390m
		送水管	6		100mm=6m
		配水管	2,127		150mm=362m 100mm=629m 75mm=1,136m
	ポリエチレン管	導水管	0		
		送水管	0		
		配水管	0		
久保月夜野 簡易水道	鑄鉄管	導水管	0		
		送水管	423		75mm=423m→ダクタイトル鑄鉄管
		配水管	450		75~100mm=450m→ダクタイトル鑄鉄管
	鋼管	導水管	0		
		送水管	0		
		配水管	0		
	硬質塩化 ビニル管	導水管	0		
		送水管	0		
		配水管	2,838		50~100mm=2,838m→HIVP
	ポリエチレン管	導水管	1,775		75mm=1,775m→80mは水管橋
		送水管	0		
		配水管	1,860		75~100mm=1,860m
合計			32,305		

表 17 上水道施設（管路）整備状況まとめ

種類	管径	整備延長(m)
導水管	~300mm未満	6,303.0
	300~500mm未満	0.0
送水管	~300mm未満	441.0
	300~500mm未満	0.0
配水管	~150mm以下	25,561.1
	~200mm以下	0.0

上水道関連建物の整備状況は次のとおりです。

表 18 上水道関連建物の整備状況

資産名称	地番	枝番	構造	延床面積(m ²)	取得年月日	取得価額(円) ※不明の場合は0
白井平配水棟	12130		鉄骨造	6.25	1972年3月15日	0
板橋配水棟	11382		鉄骨造	6.25	1973年3月31日	0
神地増圧ポンプ室1	9705			2.70	2011年1月1日	223,000
神地増圧ポンプ室2	10154			2.70	2011年1月1日	223,000
川原畑配水棟	8460		鉄骨造	6.25	1968年3月31日	0
長幡第1浄水棟	6750	乙	鉄骨造	91.00	1991年7月31日	26,487,000
長幡第1配水棟	6750	乙	鉄骨造	6.25	1975年9月30日	0
長幡第2配水棟(旧)	5508		鉄骨造	6.25	1975年9月30日	0
長幡第2井戸ポンプ室(旧)	5535	1		2.25	1998年3月30日	0
長幡第2浄水棟(新)	5440		鉄骨造	88.00	2016年2月5日	23,157,000
長幡第2増圧ポンプ室No.1(新)	5944	2		14.00	2016年2月5日	1,728,000
長幡第2増圧ポンプ室No.2(新)	5904	3		4.99	2016年2月5日	957,000
大室指滅菌室	3064		鉄骨造	2.25	1992年3月31日	1,832,000
大渡浄水棟	1406		鉄骨造	99.00	2002年3月31日	28,000,000
	合計			338.14		

上水道関連施設（機械含む）の整備・導入状況は次のとおりです。

表 19 上水道関連施設（機械含む）の整備状況

資産名称	地番	枝番	工作物種目	現況面積 (㎡)	建設年月日	取得価額(円) ※不明の場合は0
白井平沈砂池	不明		池井	2.25	1972年3月15日	0
白井平配水池	12130		貯槽	24.00	1972年3月15日	1,330,000
白井平塩素注入機械	12130		その他		2010年3月31日	150,000
板橋沈砂池	不明		池井	1.00	1973年3月31日	0
板橋配水池	11382		貯槽	6.25	1973年3月31日	0
板橋塩素注入機	11382		その他		2015年1月19日	120,000
神地取水堰（沈砂池含む）	9075		その他	3.00	2008年11月28日	3,226,000
神地配水池（浄水棟含む）	9045		貯槽	136.64	2008年11月28日	20,072,000
神地電気設備	9045		浄化装置		2008年11月28日	15,442,000
神地機械設備	9045		浄化装置		2008年11月29日	69,074,000
神地増圧ポンプNo.1	9705		その他		2011年1月1日	8,515,000
神地増圧ポンプNo.2	10154		その他		2011年1月1日	8,515,000
長幡第1取水堰	6751		その他		1975年9月30日	1,081,000
長幡第1井戸No.1	6754		池井		1999年7月20日	1,029,000
長幡第1井戸No.2	6754		池井		2013年10月31日	630,000
長幡第1沈砂池	6754		池井	20.00	1975年9月30日	0
長幡第1配水池	6750		貯槽	28.00	1977年11月30日	3,214,000
長幡第1パネルタケ配水池	6750		貯槽	24.00	不明	0
長幡第2取水堰	5484	2	その他		1977年11月30日	2,239,000
長幡第2沈砂池	5484	2	池井	19.20	不明	7,232,000
長幡第2配水池（旧）	5508		貯槽	24.50	1977年11月30日	3,214,000
長幡第2配水池（新）	5441	2	貯槽	36.30	2016年2月5日	20,735,000
長幡第2電気設備	5440		浄化装置		2016年2月5日	18,021,000
長幡第2機械設備	5440		浄化装置		2016年2月5日	95,040,000
長幡第2増圧ポンプNo.1	5944	2	その他		2016年2月5日	8,816,000
長幡第2増圧ポンプNo.2	5904	3	その他		2016年2月5日	13,280,000
長幡第2増圧ポンプNo.3（建屋込）	5054	5	その他	14.00	平成28年中	29,536,000
長幡第2減圧槽（新）	4047	3	貯槽	6.00	2016年中	19,200,000
大室指井戸	3084		池井		2005年8月11日	1,365,000
大室指配水池	3064		貯槽	42.25	1989年3月31日	9,159,000
大室指塩素注入機	3064		その他		2010年3月31日	150,000
大渡取水堰	1044	1	その他		1998年3月27日	7,271,000
大渡沈砂池	1044	1	池井	26.40	1998年3月27日	1,710,000
大渡配水池	1482		貯槽	34.93	1998年3月27日	19,269,000
大渡電気設備	1406		浄化装置		1998年3月27日	7,372,000
大渡機械設備	1406		浄化装置		1998年3月27日	112,044,000
大渡減圧槽	97		貯槽	2.25	1998年3月27日	不明

② 将来の更新費用の見通し

今後、40年間の更新費用総額は31.8億円と推計され、年平均更新費用は0.79億円となります。

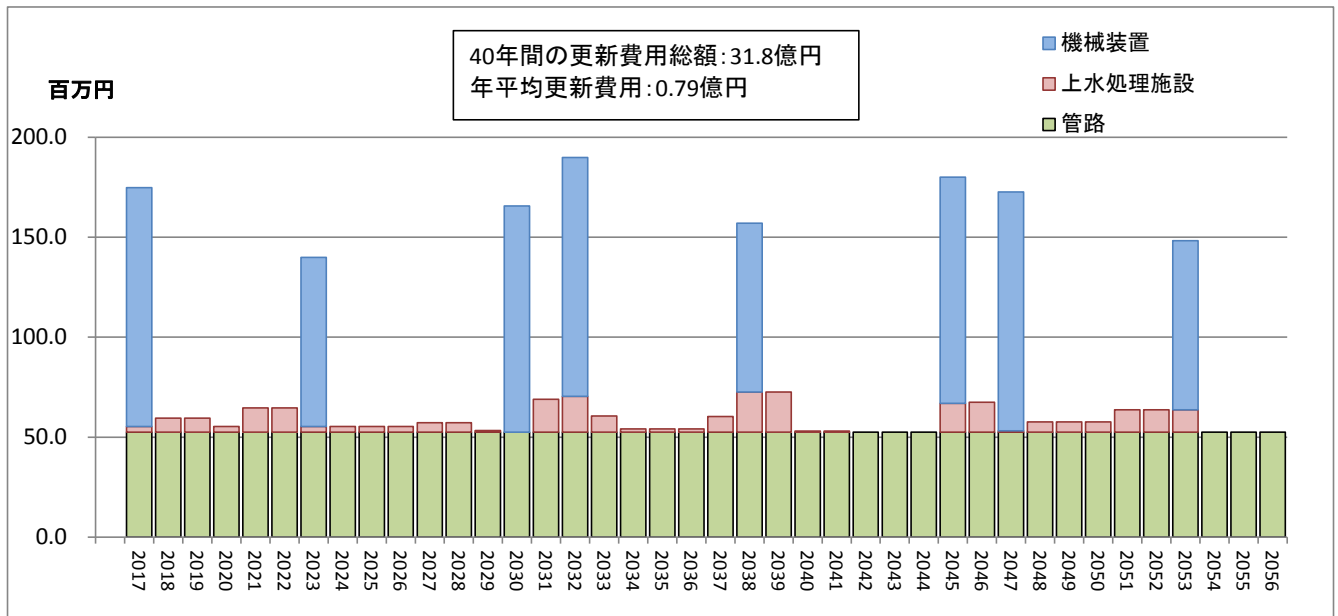


図 15 上水道の更新費用

配水管に関しては、総延長を更新年数（40年）で割った延長を更新すると仮定し、

「管路延長 × 更新単価」

によって更新費用を算出しました。

配水池など上水道処理施設に関しては、公共建築物と同様に、建築時から30年後に大規模改修を実施し、更新年数経過後に現在と同じ延床面積で更新すると仮定し、

「延床面積 × 更新単価」

によって更新費用を算出しました。

機械装置に関しては、15年毎に、現状での取得価額と同じ金額がかかるとして更新費用を算出しました。

●更新年数

配水管に関しては、本村での実態にあわせ、60年を採用することとする。

配水池などの上水道処理施設に関しては、公共建築物と同じく、30年後に大規模改修、60年後に更新するものとして算出。

●更新単価

総務省公共施設等更新費用試算ソフトの単価を適用し、導水管・送水管に関しては100千円/m（管径300mm未満の場合）、配水管に関しては97千円/m（管径150mm以下

の場合)、配水池などの上水処理施設に関しては、20万円/m²(大規模改修時)・36万円/m²(更新時)とする。

●費用を計上する年度

配水池などの上水処理施設に関しては、公共建築物と同じく、下記のとおりとする。

- ・大規模改修：当該年度および翌年度の2年間で案分
- ・更新：当該年度および翌年度、翌々年度の3年間で案分
- ・経過年数が31年以上50年までのもの：
今後10年間で均等に大規模改修を行うとして計算
- ・経過年数が51年以上のもの：
建替え時期が近いので、大規模改修は行わずに建替えるものとして計算

(4) 浄化槽

① 整備状況

本村が管理している浄化槽は、539件あり、その取得価額は約7.5億円となります。

また、排水管の取得価額は約3.0億円であり、浄化槽・排水管の合計では10.5億円ほどとなっています。

表 20 浄化槽関連施設整備状況

種別	件数	取得価額(円)
浄化槽	539	746,768,573
排水管	499	303,819,885
合計	1,038	1,050,588,458

② 将来の更新費用の見通し

今後、40年間の更新費用総額は28.0億円と推計され、年平均更新費用は7,004万円となります。

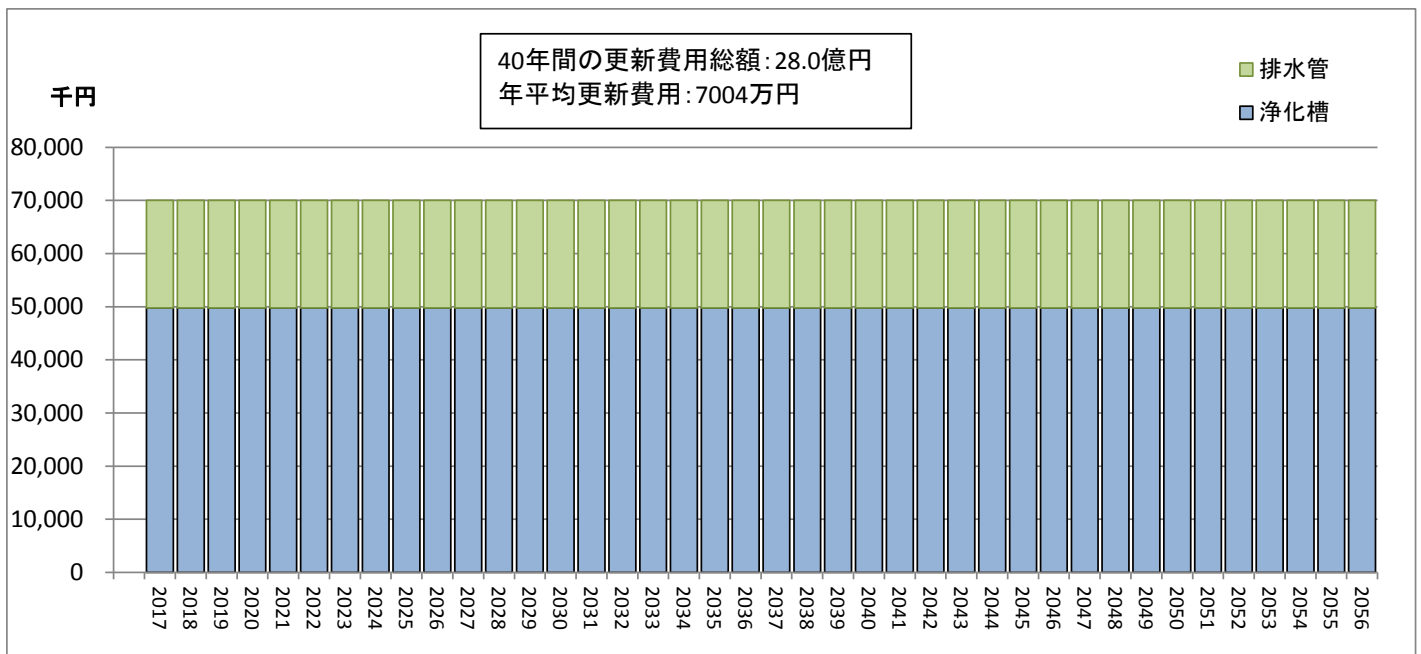


図 16 浄化槽関連施設の更新費用

現状の取得価額を更新年数で割った金額を1年間の更新金額と仮定し算出しました。

●更新年数

耐用年数として15年を採用することとする(浄化槽・排水管とも)。

(5) 光ケーブル

① 整備状況

本村が管理している光ケーブルは、延長約 62km あり、総事業費は約 3.9 億円となります。

表 21 光ケーブル関連施設整備状況

敷設時期	延長	総事業費(千円)
2010年7月	約62km	388,710

② 将来の更新費用の見通し

今後、40 年間の更新費用総額は 5.2 億円と推計され、年平均更新費用は 1,296 万円となります。

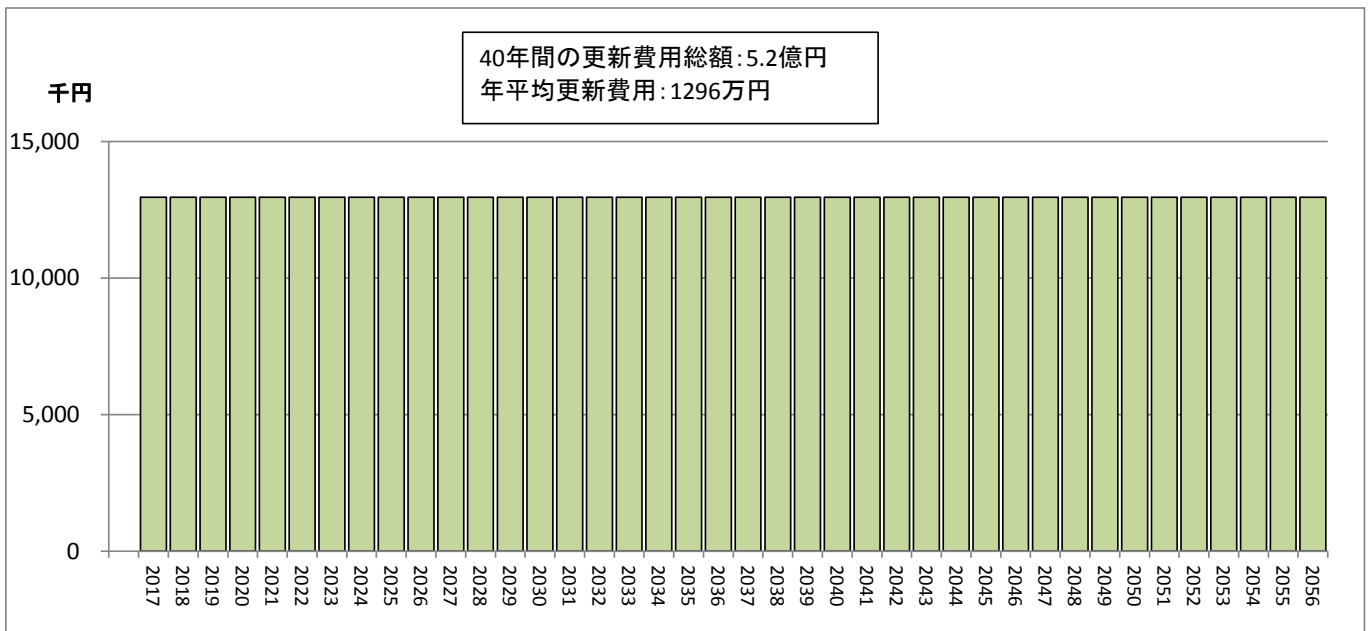


図 17 光ケーブル関連施設の更新費用

現状の取得価額を更新年数で割った金額を 1 年間の更新金額と仮定し算出しました。

●更新年数

電力用ケーブルの耐用年数の目安を参考に、光ケーブルの耐用年数として 30 年を採用することとする。

5 更新費用の整理

(1) 公共建築物・インフラ施設の合計

公共建築物・インフラ施設の全てを考慮した場合、今後 40 年間の更新費用総額は 195.5 億円と推計され、年平均更新費用は 4.9 億円となります。

一般会計で対応することになる公共建築物・道路・橋りょう・光ケーブルに限定した場合、今後 40 年間の更新費用総額は 135.6 億円と推計され、年平均更新費用は 3.4 億円となります。

もっとも負担が大きくなるのは 2046 年で、更新費用は 8.1 億円となります。

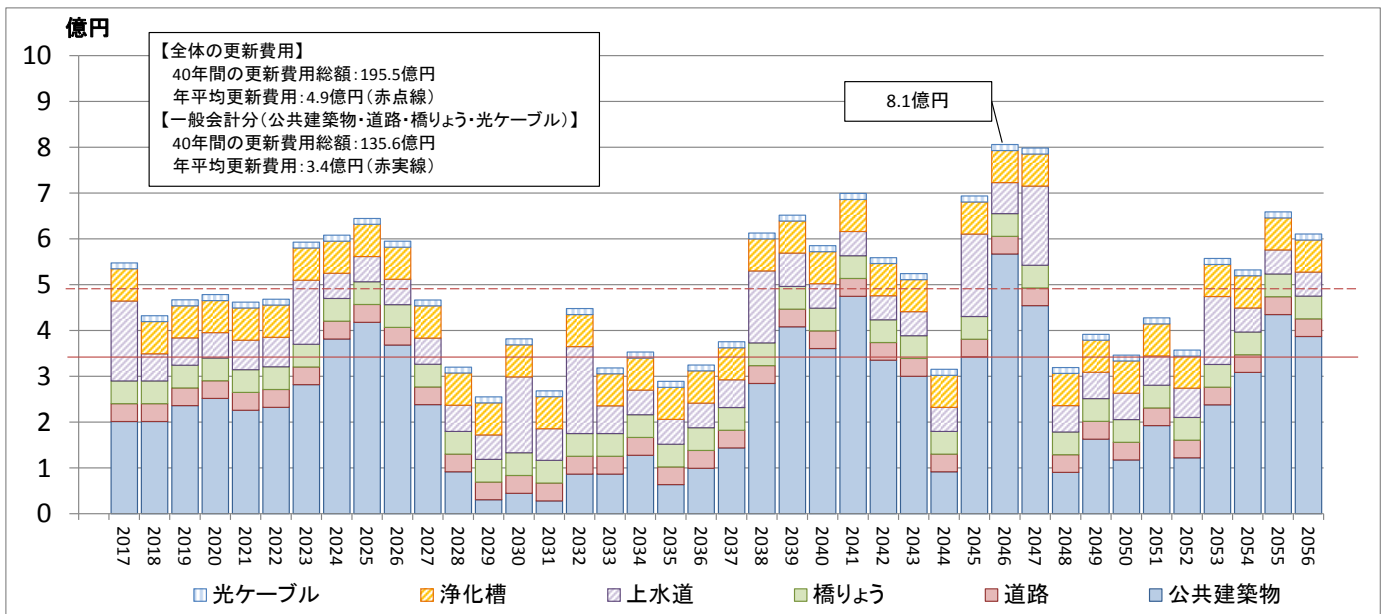


図 18 更新費用の合計（公共建築物・インフラ施設）

(2) インフラ施設合計

インフラ施設（道路・橋りょう・上水道・浄化槽・光ケーブル）だけを見た場合、今後40年間の更新費用総額は100.3億円と推計され、年平均更新費用は2.5億円となります。

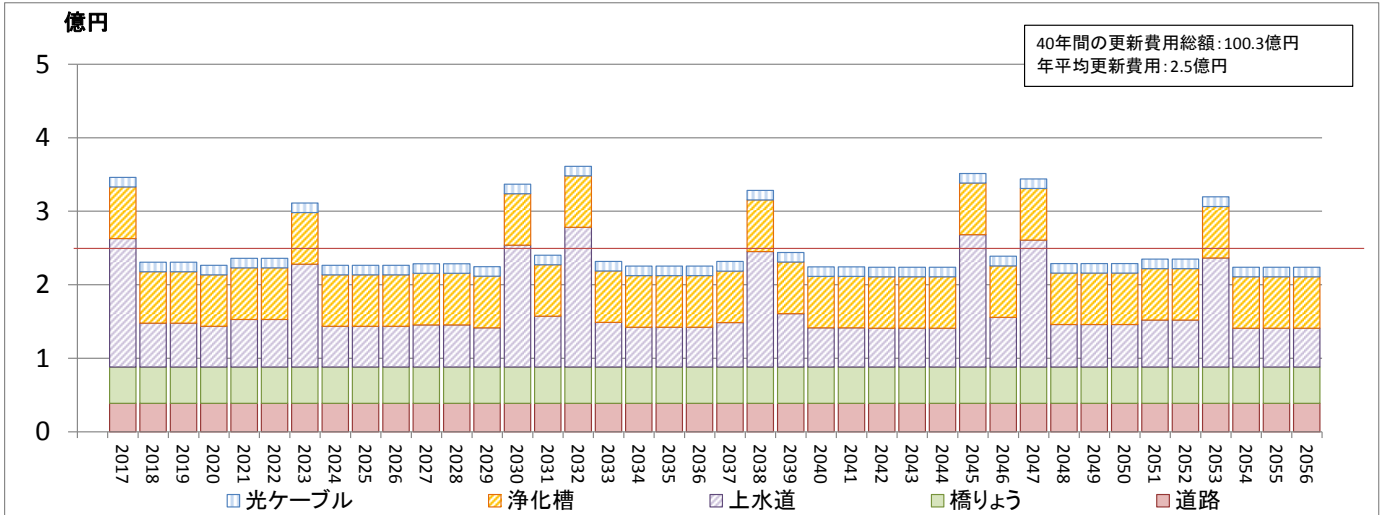


図 19 更新費用の合計（インフラ施設）

(3) 一般会計該当分の合計（公共建築物・道路・橋りょう・光ケーブル）

一般会計で対応することになる公共建築物・道路・橋りょう・光ケーブルについて見た場合、今後40年間の更新費用総額は135.6億円と推計され、年平均更新費用は3.4億円となります。

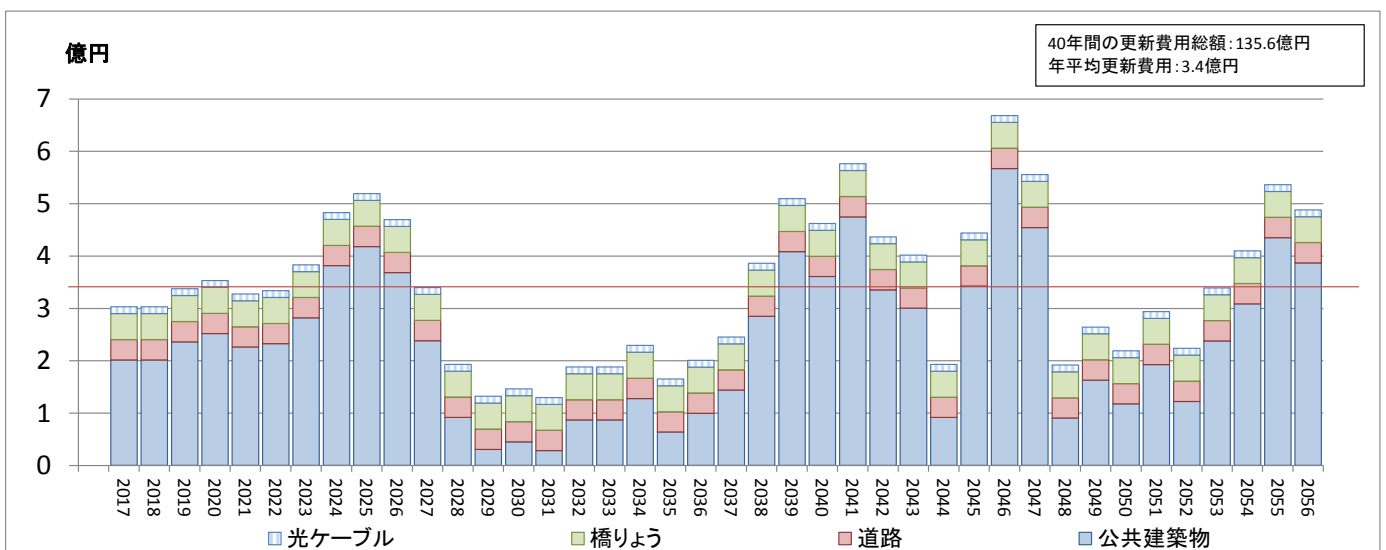


図 20 更新費用の合計（一般会計該当分：公共建築物・道路・橋りょう・光ケーブル）

第四章

公共施設等の管理に関する基本方針

1 基本的な考え方

今後、公共施設等の老朽化は急速に進行し、次々に大規模な修繕や更新（建替え）の時期を迎えることとなります。

一方、少子高齢化と人口減少が今後進むことを見据えれば、将来の財政状況は厳しさを増すことが予想され、現在ある公共施設等の量や質をそのまま維持することは難しくなる恐れがあります。

このような状況を踏まえ、公共施設等を的確に管理していくためには、個々の施設ごとにニーズや維持管理方法を検討するだけでなく、公共施設等の全体最適化を図ることが重要といえます。

このため、本村の公共施設等の管理に関する基本方針を定め、その上で、各施設の管理方法を検討していくこととします。

2 歳入の見通し

公共施設維持の財源にあたる投資的経費に関して、平成 23 年度から 27 年度の平均をとると 524 百万円となります。しかし、平成 26 年度、27 年度は学校の建設等のため投資的経費が大きくなっており、今後、毎年度同程度の費用を捻出することは難しいと考えられます。平成 26 年度、27 年度を除外した 3 年間（平成 23 年度～25 年度）の平均をとると 392 百万円となるため、これを今後の投資的経費の規模を考える際の基本にすることとします。

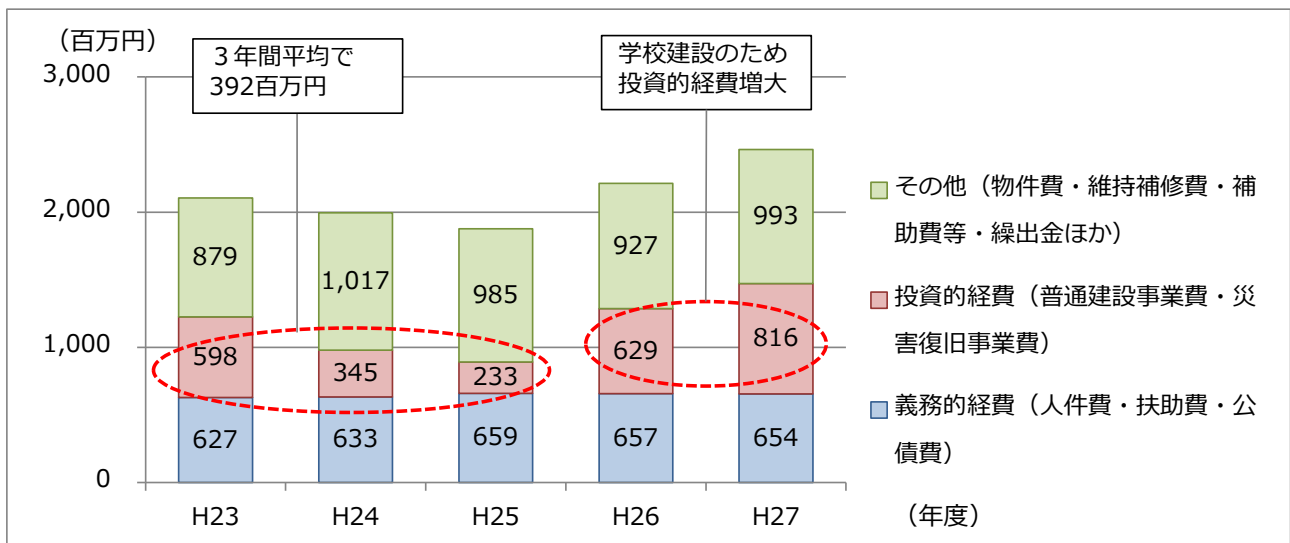


図 21 一般会計歳出決算の推移（再掲）

一方、本村では今後、人口が減少していくことが想定されており、人口が減少すれば税収も減少するため、捻出できる投資的経費の規模にも影響が及びます。

本計画の計画終了年に近い 2055 年の将来人口推計値は、人口ビジョンによれば 1,578 人（2015 年を 100%とすると 88%）となります。また、人口減抑制対策を何も行わなかった場合に想定する社人研推計では 1,050 人（2015 年の 58%）、それよりは人口減が抑制されるシミュレーション 1 ではの場合 1,237 人（2015 年の 69%）と推計されています。

表 22 将来人口の見込み

ケース		人口（人）	現状に対する比率
現状（2015年）		1,801	100%
将来推計 （2055年）	人口ビジョン実現時	1,578	88%
	シミュレーション1	1,237	69%
	社人研推計	1,050	58%

●将来推計の条件

シミュレーション 1： 社人研推計をベースに、合計特殊出生率が 2020 年に 1.5、2025 年に 1.8、2030 年に 2.1 まで上昇すると仮定した場合。

人口ビジョン： 社人研推計をベースに合計特殊出生率が 2020 年に 1.58、2025 年に 1.77、2030 年に 1.96、2035 年に 2.15、2040 年に 2.36 まで上昇し、かつ社会増に転じると仮定した場合。

今後、さまざまな対策を行い、人口ビジョンの実現を目指していくこととなりますが、公共施設等の維持に充当できる財源に関しては、人口ビジョンどおりの人口が将来的に確保できない場合にも備えて、慎重な検討を行うことが望まれるため、ここでは、シミュレーション 1 程度の将来人口（現状の約 7 割）となる場合を想定して、検討を進めます。

実際には、人口の減少率が、そのまま税収や投資的経費の減少率になるわけではありませんが、ここではおおまかな規模感を把握するために単純化し、将来的に捻出できる投資的経費は、現状の約 7 割程度と仮定します。

現状の投資的経費の規模は、3.92 億円（平成 23 年度～25 年度の平均）であるため、この 7 割にあたる 2.74 億円程度を、将来的に捻出できる投資的経費と捉えることにします。

3 施設の利用状況と更新費用の規模

本村の公共建築物の延床面積は 23,783m²です。これらや道路・橋りょうなどのインフラを維持・更新していくためには、年平均で 3.4 億円の更新費用が必要となります。

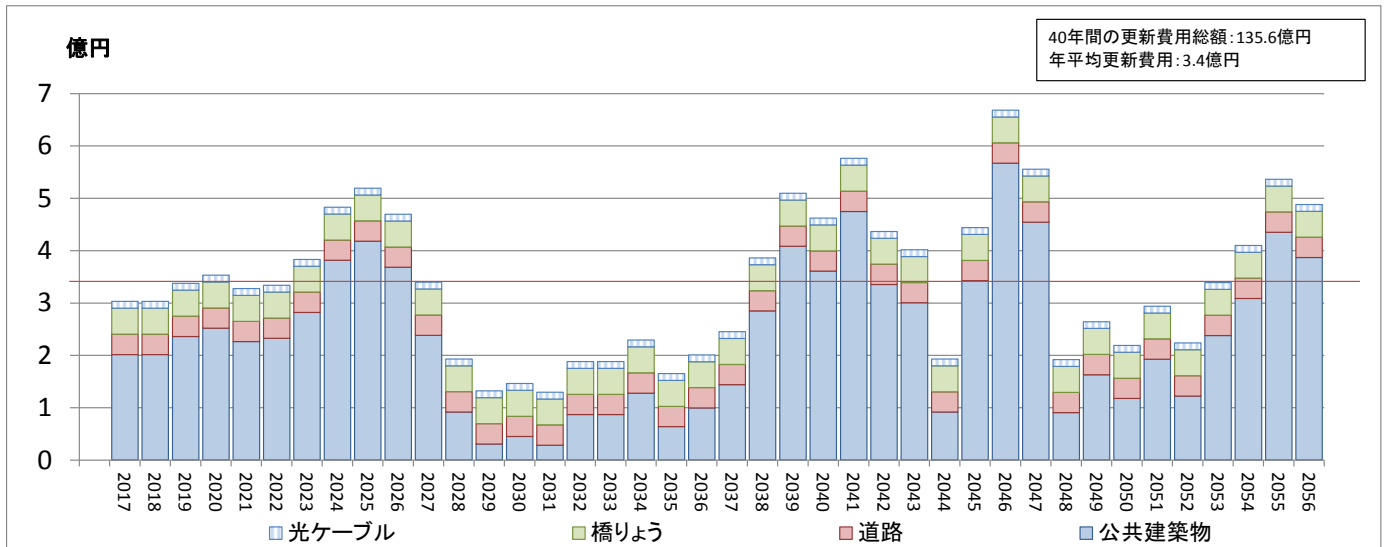


図 22 更新費用の合計（一般会計該当分：公共建築物・道路・橋りょう・光ケーブル）（再掲）

しかし、将来的に捻出できる投資的経費は 2.74 億円程度のため、利用状況に応じて公共施設を選別し、必要な施設のみ維持・更新していく必要があります。

現状では、多くの建築物は村民生活等に有効に利用されており、今後も維持・更新していくこととなりますが、中には今後利用が見込まれない施設や、安全性の問題等から、今後の取り扱いを検討しなくてはならない施設があります。

具体的な施設としては、「道志村グリーンロッジ」、「道志水源の森 郷土芸能保存伝承館（野外音楽堂）」、「道志水源の森 水車小屋」、「馬場教員住宅」に関しては、今後の利用が見込まれないため、将来的な維持・更新対象からは除外することにします。

また、「道志小学校（旧校舎）」や、耐震化の必要がある「道志村役場」については、今後の取り扱いを慎重に検討していくことが必要です。

一方「道志村スポーツプラザ屋内プール」等は、利用動向を見ながら、必要に応じて一部改修を行うなど、適正な維持・管理を図っていきます。

ここでは、ケーススタディとして、今後利用が見込まれない施設や、今後の取り扱いを検討する施設を仮に除外した場合の、将来更新費用を試算しました。

表 23 公共建築物の将来更新費用に関するケーススタディ

(単位：百万円)

区分	ハコモノの 総延床面積 (m ²)	対「既存全施設」比率	40年間の ハコモノ 更新費	40年間の 道路・ 橋りょう・光 ファイバー 更新費	40年間の 更新費合計	1年あたりの 平均更新費	
既存全施設（ハコモノ）維持の場合	23,783	100%	9,513	4,051	13,564	339	
今後利用が見込まれない施設（※1）を除外した場合 【基本ケース】	22,965	97%	9,055	4,051	13,106	328	
要検討施設 （※2） に関する ケース スタディ	基本ケースから、役場・屋内プール・道志小学校 旧校舎以外の要検討施設を除外した場合	22,154	93%	8,601	4,051	12,652	316
	基本ケースから役場・プール以外の要検討施設を 除外した場合	20,359	86%	7,703	4,051	11,755	294
	基本ケースから役場以外の要検討施設を除外した 場合	19,144	80%	7,023	4,051	11,074	277
	基本ケースから、全ての要検討施設を除外した場 合（役場も除外）	18,478	78%	6,590	4,051	10,641	266

※1：道志村グリーンロッジ、道志水源の森 郷土芸能保存伝承館（野外音楽堂）、道志水源の森 水車小屋、馬場教員住宅

※2：道志村役場、道志村交流活動センター、道志小学校（旧校舎）、道志水源の森 ギャラリー水源の森、道志村スポーツプラザ屋内プール

今後利用が見込まれない施設を除外した場合を基本ケースとすると、基本ケースでは公共建築物の延床面積は、現状の全施設の延床面積に対して97%に減少し、1年あたりの平均更新費用（道路・橋りょう・光ファイバー更新費用との合算）は3.28億円に減少します。

また、基本ケースに加え、役場以外の要検討施設（道志村交流活動センター、道志小学校、道志水源の森 ギャラリー水源の森、道志村スポーツプラザ屋内プール）を除外した場合、公共建築物の延床面積は、現状の全施設の延床面積に対して80%まで減少し、1年あたりの平均更新費用は2.77億円に減少し、将来的に捻出できる投資的経費とほぼ同程度になります。

ここに挙げた施設を、どのように扱っていくかは、今後の検討課題ですが、将来的に捻出できる投資的経費にて維持・更新できる施設の総量を把握するための参考にはなるため、本ケーススタディの結果を踏まえ、以下では、公共施設等の管理に関する基本方針を策定します。

4 基本方針

(1) 公共建築物

① 総量（総延床面積）の縮減

公共建築物を維持するための費用は、施設の総延床面積と密接な関係があり、総延床面積が多いほど、多額の費用が必要となります。

このため、人口減少に伴う税収の減少にあわせて、公共建築物の総量（総延床面積）を縮減することが考えられます。

本村の施設の多くは有効利用されており、縮減できる延床面積は限られますが、ケーススタディの結果も踏まえ、公共建築物の総延床面積の

縮減目標を 40 年間で 20%とします。

総量縮減を実現するために、

- ・新規の施設を整備する際には、施設の複合化・集約化・統廃合を視野に入れて整備手法を検討します。
- ・建設から一定期間を経過した施設は適宜点検・診断を実施し、建設から 30 年を超えるもので長期の活用が見込まれない場合は、廃止を基本とします。
- ・廃止した施設で、売却・貸付などが見込めない場合は、老朽化による破損等によって周辺的环境・治安に悪影響を与えないよう、取り壊しを基本とします。

② ライフサイクルコスト（※）の縮減

重大な損傷や致命的な損傷となる前に予防的修繕を実施し、健全な状態を維持しながら長寿命化を図ることでライフサイクルコストを縮減します。

建替周期は大規模改修工事を経て 60 年とし、その時点で診断を行い更に使用が可能であれば、長寿命改修工事を行って 80 年まで長期使用しコストを削減することも検討します。

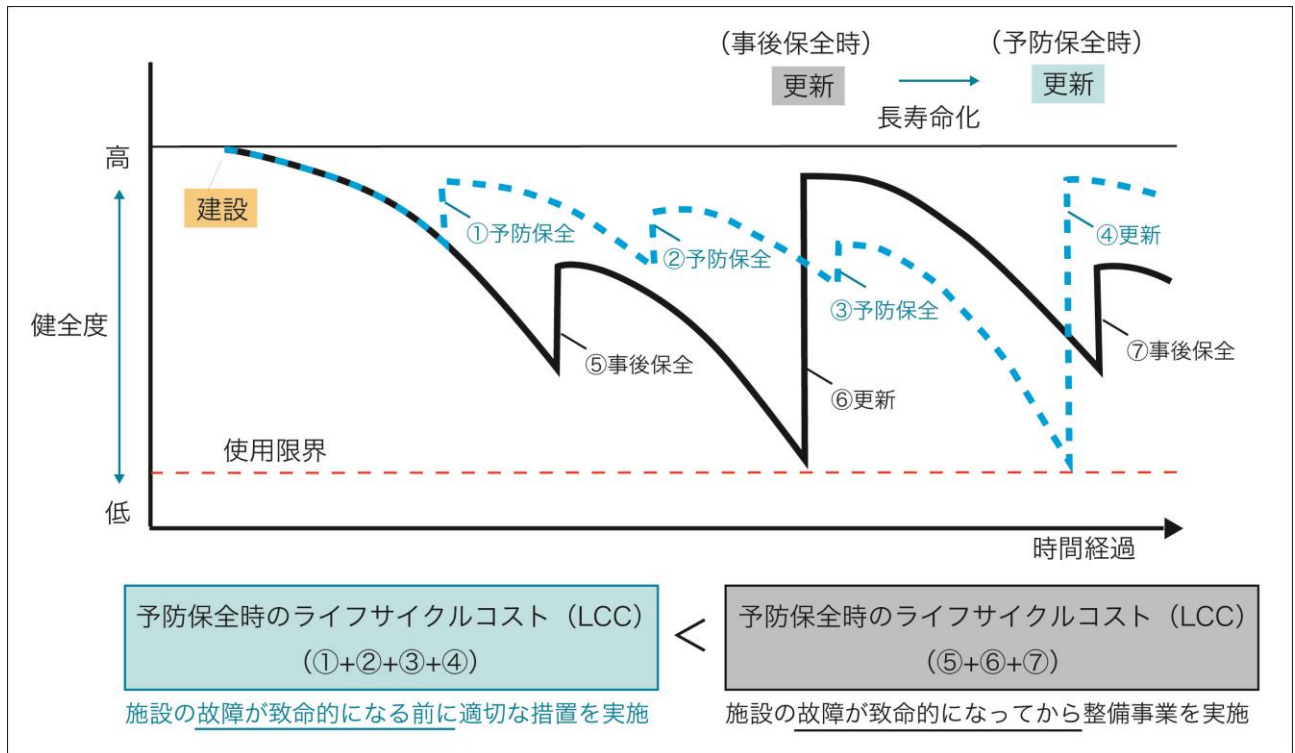


図 23 ライフサイクルコスト削減のイメージ

※ 建築物等の企画、設計から、それを建設し、運用した後、取り壊しするまでの間に費やされる費用

③ 指定管理者やPFI（※1）等のPPP手法（※2）の活用

様々な資金やノウハウを持つ民間事業者の活力を活かし、施設整備、更新、維持管理、運営をより効果的かつ効率的に行います。

※1 Private Finance Initiative：公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法

※2 Public Private Partnership：公共サービスに市場メカニズムを導入することを旨に、サービスの属性に応じて民間委託、PFI、独立行政法人化、民営化等の方策を通じて、公共サービスの効率化を図ること

(2) インフラ施設

① ライフサイクルコストの削減

本村における、道路・橋りょう・上水道・下水道といったインフラは、一定水準の整備がされてきたといえ、今後は、新規整備から維持・メンテナンスに比重が移っていくと考えられます。

公共建築物については、機能の統合や複合化、廃止などにより、総量を削減し、修繕・更新コストを抑制することは可能ですが、インフラ施設については、一度整備や布設した道路や橋りょう、上下水道管を廃止し、総量を削減していくことは現実的ではありません。

そこで、重大な損傷や致命的な損傷となる前に予防的修繕を実施し、健全な状態を維持しながら長寿命化を図ることでライフサイクルコストを縮減します。

② 各インフラ施設の管理の方向

<道路>

重要度の高い道路は点検・診断に応じたメンテナンスを行い、計画的な予防保全型の維持管理に努め、更新費用の平準化、施設の長寿命化を図ります。

重要度の低い道路については、従来どおりの事後保全型の維持管理とし、修繕の必要性が発生した場合には迅速な対応を図ります。

<橋りょう>

橋りょう点検・診断に応じたメンテナンスを行い、計画的な予防保全によるコスト効率性の向上を図ります。特に橋りょうの事故は人命に関わるため、予防保全型の修繕に努め、メンテナンスサイクルを実施し、道路利用者の安全性の確保及び更新費用の平準化を図ります。

<上水道>

現状の施設及び設備の分析を行い、今後の施設更新・修繕費の発生を推測するとともに、長期的な設備投資計画を策定し費用の平準化を図ります。

<浄化槽>

施設の修繕や保守点検を行い、将来に必要な更新や計画を検討し、施設の長寿命化及び費用の平準化を図ります。

<光ケーブル>

デジタルディバイド（情報格差）解消のため、村内全域に張り巡らされている光ファイバー幹線の修繕、保守点検を行い、計画的な更新と予防保全型の管理運営を行うことで費用の平準化、施設の長寿命化を図ります。

5 公共建築物の類型ごとの管理に関する基本方針

(1) 住民文化系施設

本類型には「水源の郷やまゆりセンター」、「道志村中央公民館」、「善之木地区コミュニティーセンター」等の集会施設が該当します。

「水源の郷やまゆりセンター」や地区公民館では、各種団体によってさまざまな教室、大会等が開催されており、本村の生涯教育・生涯学習の中心的役割を担うとともに、地域文化の振興等のためにも欠かせない施設であるため、床面積の縮減等を行わず、現状維持を図ります。

(2) スポーツ・レクリエーション系施設

本類型には「道志村交流促進施設（道の駅）」、「道志の湯」、「道志森のコテージ」等が含まれます。

これらの施設は、本村の主要産業でもある観光の振興をはかるために重要な施設であるため、利用動向を見ながら維持・更新を図っていきます。

ただし、「道志村グリーンロッジ」、「道志水源の森 郷土芸能保存伝承館（野外音楽堂）」、「道志水源の森 水車小屋」に関しては、今後の利用が見込まれないため、解体の方向で検討を進めます。

また、「道志村スポーツプラザ屋内プール」に関しては、規模も大きいいため、今後の取り扱いについて慎重に検討していきます。

(3) 学校教育系施設

本類型には「道志小学校」、「道志中学校」、「道志小学校（旧校舎）」及び体育館等が含まれます。

新設された「道志小学校」、「道志中学校」に関しては今後、適切な維持・更新を図っていきます。

一方、「道志小学校（旧校舎）」に関しては現在利用されていない状況にあり、他目的への転用可能性を含め、今後の取り扱いを検討していきます。

(4) 子育て支援施設

本類型には「道志村保育所」、「学童保育所どうしっこ」が該当します。

全国的に少子化が進行する中で、子育て支援は本村にとっても大変重要な課題です。このようなニーズの高まりを踏まえ、床面積の縮減等を行わず、現状維持を図ります。

(5) 保健・福祉施設

本類型には「道志村福祉センター」が該当します。

高齢化の進展等により福祉のニーズが増大する中で施設の重要性が増しているため、床面積の縮減等を行わず、現状維持を図ります。

(6) 医療施設

本類型には「道志村国民健康保険診療所・道志村国民健康保険歯科診療所」が該当します。

地域に密着した医療の拠点として、住民の生活に欠くことのできない施設であり、床面積の縮減等を行わず、現状維持を図ります。

(7) 行政系施設

本類型には「道志村役場」、消防施設が該当します。

役場庁舎は、建築から50年以上を経過しており、耐震性に懸念があるため、今後の取り扱いを慎重に検討していきます。

消防施設に関しては、住民の生活に欠くことのできない施設であり、床面積の縮減等を行わず、現状維持を図ります。

(8) 村営住宅

本類型には村営住宅（池の原団地・谷相団地・道志村若者定住促進住宅）が該当します。

今日、若者の定住やUターンを促進するために、住宅の確保が課題となっていることから、当該施設の適切な維持・更新を図っていきます。

(9) 公園

本類型には公衆トイレが該当します。

必要な施設であるとともに、小規模な施設のため、床面積の縮減等を行わず、現状維持を図ります。

(10) その他

本類型には「馬場教員住宅」、「道志村医師住宅」、「ハイツビックマロン」が該当します。

「道志村医師住宅」、「ハイツビックマロン」は、本村の教育、医療を支える方の住宅であることから、床面積の縮減等を行わず、現状維持を図ります。一方「馬場教員住宅」に関しては、今後の利用が見込まれないため、将来的な維持・更新対象からは除外します。

6 ライフサイクルコスト削減のための具体策

上述のとおり公共建築物・インフラ施設ともに、ライフサイクルコストの削減は非常に重要です。そのため、下記のとおりライフサイクルコスト削減を進めていきます。

(1) 点検・診断等の実施

施設の継続的な利用が確実に見込まれている施設については、法定点検に加え、必要に応じて任意の調査・点検を実施します。また、利用率の低い施設は、その状態を把握、勘案し、転用、取り壊し等の検討を行います。

(2) 安全確保の実施

施設の危険度が高まった場合、今後もその利用見込みがある施設に関しては、速やかに安全確保及び長寿命化対策を実施します。今後の利用見込みが低い施設に関しては、原則として統廃合及び取り壊しの対象とします。

(3) 長寿命化の推進

既に策定済みの「長寿命化修繕計画」については、本計画に基づき継続的に見直しを行い維持管理、修繕、更新等を実施することとし、その他の施設については、本計画に準じたうえで、必要に応じて個別に長寿命化計画等を策定します。

7 推進体制

(1) 組織

本計画の推進にあたっては、総務課が主体となり、各公共施設を所管する課等と調整連携して、組織横断的な取り組みを進めながら進行管理を行います。

また、今後の公共施設等の統廃合や更新等の取扱いにあたっては、議会や村民に対し随時情報提供を行い、村全体で認識の共有化を図ります。

(2) 計画の進捗管理

本計画の進行管理にあたっては、「公共施設管理進捗表」を定期的に改訂していく中で、基本方針に掲げた各種取り組みの推進状況を把握し、個別事業計画の立案を行っていきます。

道路・橋りょう、公園、上下水道のインフラ施設については、個別の長寿命化計画や保全計画等に示される工程の進捗状況をチェックするとともに、必要に応じて計画の見直しを図ります。


第五章

個別公共建築物の概要

1 住民文化系施設

(1) 道志村中央公民館【NO.1】

●建物の状況

建築年月	1973年（昭和48年）3月					
構造形式	鉄筋コンクリート造					
延床面積（m ² ）	650					
階数	2					
耐震状況	旧耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	2004年度 1階内部改修					
付属建物						

●施設の利用状況


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
職員数（人）	10	9	11

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	0	75	75	0
2014年度	0	69	69	0
2015年度	0	115	115	0

(2) 月夜野地区公民館【NO.2】

●建物の状況

建築年月	1975年（昭和50年）3月					
構造形式	木造					
延床面積（m ² ）	115.93					
階数	1					
耐震状況	旧耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	不明	不明	不明

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	10	50	60	60
2014年度	10	51	61	61
2015年度	10	51	61	61

(3) 川原畑生活改善センター【NO.3】

●建物の状況

建築年月	1978年（昭和53年）3月					
構造形式	木造					
延床面積（m ² ）	158.9					
階数	1					
耐震状況	旧耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	不明	不明	不明

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	10	59	69	69
2014年度	10	60	70	70
2015年度	10	60	70	70

(4) 神地林業集会場【NO.4】

●建物の状況

建築年月	1979年(昭和54年)3月					
構造形式	木造					
延床面積(m ²)	158.9					
階数	1					
耐震状況	旧耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況


指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)	不明	不明	不明

●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)			収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	合計	
2013年度	10	90	100	100
2014年度	10	93	103	103
2015年度	10	93	103	103

(5) 和出村地区公民館【NO.5】

●建物の状況

建築年月	1979年（昭和54年）3月					
構造形式	鉄筋コンクリート造					
延床面積（m ² ）	163.96					
階数	1					
耐震状況	旧耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	不明	不明	不明

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	10	50	60	60
2014年度	10	51	61	61
2015年度	10	51	61	61

(6) 集いの家【NO.6】

●建物の状況

建築年月	1986年（昭和61年）10月					
構造形式	木造					
延床面積（m ² ）	196.56					
階数	1					
耐震状況	旧耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						



●施設の利用状況


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	不明	不明	不明

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	0	40	40	40
2014年度	0	33	33	33
2015年度	0	29	29	29

(7) 善之木地区コミュニティーセンター【NO.7】

●建物の状況

建築年月	2005年（平成17年）3月					
構造形式	鉄筋コンクリート造					
延床面積（m ² ）	205					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	不明	不明	不明

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	10	0	10	10
2014年度	10	0	10	10
2015年度	10	0	10	10

(8) 水源の郷やまゆりセンター【NO.8】

●建物の状況

建築年月	2009年(平成21年)3月					
構造形式	鉄筋コンクリート造					
延床面積 (m ²)	864.54					
階数	2					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	○	○	○	○	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)	27,270	26,058	26,642

●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)			収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	合計	
2013年度	1,174	7,839	9,013	9,013
2014年度	1,224	5,581	6,805	6,805
2015年度	1,267	4,869	6,136	6,136

2 スポーツ・レクリエーション系施設

(1) 善之木体育館【NO.9】

●建物の状況

建築年月	1983年（昭和58年）3月						
構造形式	鉄骨造						
延床面積（m ² ）	710						
階数	1						
耐震状況	旧耐震基準 2009年度改修済み						
大規模改修	—						
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	
	×	×	×	×	×	×	
特記事項	平成25年度 善之木体育館耐震診断業務委託 2,782,500円／平成27年度 善之木体育館屋根塗装工事 1,300,000円						
付属建物							

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	不明	不明	不明

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	15	2,900	2,915	2,915
2014年度	15	106	121	121
2015年度	15	1,418	1,433	1,433

(2) 唐沢体育館【NO.10】

●建物の状況

建築年月	1986年（昭和61年）3月					
構造形式	鉄骨・鉄筋コンクリート造					
延床面積（m ² ）	797.53					
階数	1					
耐震状況	旧耐震基準 2009年度改修済み					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	平成 25 年度 唐沢体育館耐震診断業務委託 3,391,500 円／平成 27 年度 道志村唐沢体育館耐震補強工事 6,480,000 円（前払金）					
付属建物						

●施設の利用状況


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	不明	不明	不明

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	15	4,217	4,232	4,232
2014年度	15	1,124	1,139	1,139
2015年度	30	13,517	13,547	13,547

(3) 体育倉庫【NO.11】

●建物の状況

建築年月	1991年(平成3年)3月					
構造形式	鉄骨造					
延床面積(m ²)	12					
階数	1					
耐震状況	旧耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況


指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)	不明	不明	不明

●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)			収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	合計	
2013年度	0	0	0	0
2014年度	0	0	0	0
2015年度	0	0	0	0

(4) 道志村スポーツプラザ屋内プール【NO.12】

●建物の状況

建築年月	1995年（平成7年）3月					
構造形式	鉄筋コンクリート造					
延床面積（m ² ）	1215.56					
階数	1					
耐震状況	旧耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	○	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	1,309	1,253	1,428

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	773	5,648	6,421	6,421
2014年度	873	5,763	6,636	6,636
2015年度	767	5,606	6,373	6,373

(5) 道志村グリーンロッジ【NO.13】

●建物の状況

建築年月	1977年（昭和52年）3月					
構造形式	木造					
延床面積（m ² ）	426.06					
階数	1					
耐震状況	旧耐震基準（診断・改修未実施）					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり：○ なし：× 不要：—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	500	—	—


●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			売上 （千円）	施設使用料 （千円）	土地使用料 （千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖 房燃料、管理委 託料、修繕費 等）	合計			
2013年度	950	650	1,600	2,080	300	0
2014年度	—	—	—	—	300	0
2015年度	—	—	—	—	300	0

※支出・売上の部分は、指定管理者のほうで支払った支出となります。

(6) 道志村交流活動センター【NO.14】

●建物の状況

建築年月	1977年（昭和52年）6月					
構造形式	鉄骨造					
延床面積（m ² ）	428.80					
階数	1					
耐震状況	旧耐震基準 （H21 診断実施済・改修不要）					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	2013年4月1日付けで横浜市から無償譲渡された。					
付属建物	なし					

●施設の利用状況


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	—	923	867

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	0	29	0	0
2014年度	0	107	0	0
2015年度	0	37	0	0

(7) 道志村水稻育苗センター【NO.15】

●建物の状況

建築年月	1980年(昭和55年)3月					
構造形式	鉄骨造					
延床面積 (m ²)	207.50					
階数	1					
耐震状況	旧耐震基準(診断・改修未実施)					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
従業員数(人)	—	—	—


●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)			売上 (千円)	施設使用料 (千円)	土地使用料 (千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖 房燃料、管理委 託料、修繕費 等)	合計			
2013年度	—	—	—	—	0	80
2014年度	894	183	1,077	2,155	0	80
2015年度	—	—	—	—	0	80

※支出・売上の部分は、指定管理者のほうで支払った支出となります。

(8) 室久保魚苗センター【NO.16】

●建物の状況

建築年月	1981年(昭和56年)3月					
構造形式	木造及び鉄骨					
延床面積 (m ²)	58.30					
階数	1					
耐震状況	旧耐震基準(診断・改修未実施)					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
従業員数(人)	2	2	2


●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)			売上 (千円)	施設使用料 (千円)	土地使用料 (千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房燃料、管理委託料、修繕費等)	合計			
2013年度	519	2,810	3,329	25,017	0	666
2014年度	85,893	27,226	113,119	359,698	0	666
2015年度	86,457	31,527	117,984	353,825	0	666

※支出・売上の部分は、指定管理者のほうで支払った支出となります。

(9) 道志川溪流フィッシングセンター【NO.17】

●建物の状況

建築年月	1982年(昭和57年)1月					
構造形式	木造					
延床面積 (m ²)	90.00					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)	9,489	8,334	9,210


●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)			売上 (千円)	施設使用料 (千円)	土地使用料 (千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房燃料、管理委託料、修繕費等)	合計			
2013年度	1,730	1,465	3,195	4,759	0	0
2014年度	1,730	1,586	3,316	5,595	0	0
2015年度	1,730	2,208	3,938	3,942	0	0

※支出・売上の部分は、指定管理者のほうで支払った支出となります。

(10) みなもと体験館【NO.18】

●建物の状況

建築年月	1986年(昭和61年)1月					
構造形式	鉄骨鉄筋コンクリート造					
延床面積 (m ²)	560.34 (1階 362.08) (2階 198.26)					
階数	2					
耐震状況	新耐震基準 2010年(平成22年)3月改修					
大規模改修	2010年(平成22年)3月改修					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	○	○	×	○ (階段のみ)	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)	3,136	3,536	3,897


●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)			売上 (千円)	施設使用料 (千円)	土地使用料 (千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房燃料、管理委託料、修繕費等)	合計			
2013年度	3,081	1,882	4,963	6,575	0	403
2014年度	2,481	1,967	4,448	7,404	0	403
2015年度	2,036	3,540	5,576	8,240	0	403

※支出・売上の部分は、指定管理者のほうで支払った支出となります。

(11) 道志水源の森 郷土芸能保存伝承館（野外音楽堂）【NO.19】

●建物の状況

建築年月	1988年（昭和63年）3月					
構造形式	鉄骨鉄筋コンクリート造					
延床面積（m ² ）	293.77					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	0	0	0

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	0	0	0	0
2014年度	0	0	0	0
2015年度	0	0	0	0

(12) 道志水源の森 生産物直売所【NO.20】

●建物の状況

建築年月	1988年(昭和63年)3月					
構造形式	木造及び鉄骨					
延床面積(m ²)	221.58					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	○	○	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)	7,977	7,295	7,002


●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)			売上 (千円)	施設使用料 (千円)	土地使用料 (千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖 房燃料、管理委 託料、修繕費 等)	合計			
2013年度	2,980	2,552	5,532	8,046	80	219
2014年度	2,142	1,560	3,702	9,154	72	162
2015年度	1,539	1,154	2,693	7,145	71	162

※支出・売上の部分は、指定管理者のほうで支払った支出となります。

(13) 道志水源の森 水車小屋【NO.21】

●建物の状況

建築年月	1988年（昭和63年）3月					
構造形式	木造					
延床面積（m ² ）	19.87					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	0	0	0

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	0	0	0	0
2014年度	0	0	0	0
2015年度	0	0	0	0

(14) 道志森のコテージ 管理棟【NO.22】

●建物の状況

建築年月	1990年(平成2年)2月					
構造形式	木造					
延床面積 (m ²)	105.00					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物	外トイレ:1991年2月、鉄筋コンクリート造、延床面積20.00㎡、1階 シャワー棟:1991年2月、鉄筋コンクリート造、延床面積33.00㎡、1階					

●施設の利用状況

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)	7,949	7,871	8,310

※利用状況の人数は道志森のコテージ全体の利用者数。


●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)			売上 (千円)	施設使用料 (千円)	土地使用料 (千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房燃料、管理委託料、修繕費等)	合計			
2013年度	—	—	—	—	1,278	1,523
2014年度	3,935	1,458	5,393	12,924	1,292	1,523
2015年度	—	—	—	—	1,275	1,596

※支出・売上の部分は、指定管理者のほうで支払った支出となります。

(15) 道志森のコテージ バンガロー（1号棟 15人用）【NO.23】

●建物の状況

建築年月	1991年（平成3年）2月					
構造形式	木造					
延床面積（m ² ）	54.00					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

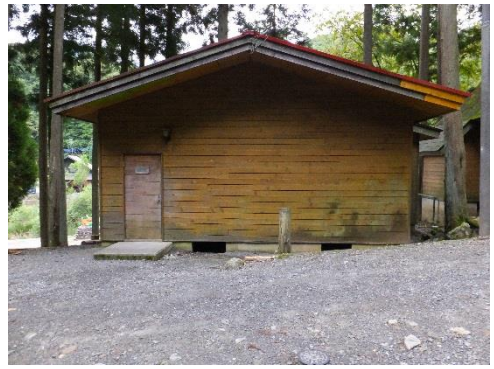
指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用回数（回）	30	25	31

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入 （千円）	指定管理料 （千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖 房燃料、管理委 託料、修繕費等）		
2013年度	（道志森のコテージ 管理棟の項を参照）			
2014年度				
2015年度				

(16) 道志森のコテージ バンガロー（2号棟 6人用）【NO.24】

●建物の状況

建築年月	1991年（平成3年）2月					
構造形式	木造					
延床面積（m ² ）	23.18					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用回数（回）	43	36	52

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入 （千円）	指定管理料 （千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖 房燃料、管理委 託料、修繕費等）		
2013年度	（道志森のコテージ 管理棟の項を参照）			
2014年度				
2015年度				

(17) 道志森のコテージ バンガロー (3号棟 4人用) 【NO.25】

●建物の状況

建築年月	1991年(平成3年)2月					
構造形式	木造					
延床面積 (m ²)	13.24					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標 (単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用回数 (回)	35	41	45


※4人用バンガロー利用回数÷3棟(小数点以下は切り捨て)

●施設のコスト・収入状況

	支出 (千円)		収入 (千円)	指定管理料 (千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房燃料、管理委託料、修繕費等)		
2013年度	(道志森のコテージ 管理棟の項を参照)			
2014年度				
2015年度				

(18) 道志森のコテージ バンガロー (5号棟 10人用) 【NO.26】

●建物の状況

建築年月	1991年(平成3年)2月					
構造形式	木造					
延床面積 (m ²)	28.00					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標 (単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用回数 (回)	29	27	27


※10人用バンガロー利用回数÷4棟 (小数点以下は切り捨て)

●施設のコスト・収入状況

	支出 (千円)		収入 (千円)	指定管理料 (千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房燃料、管理委託料、修繕費等)		
2013年度	(道志森のコテージ 管理棟の項を参照)			
2014年度				
2015年度				

(19) 道志森のコテージ バンガロー（7号棟 4人用）【NO.27】

●建物の状況

建築年月	1991年（平成3年）2月					
構造形式	木造					
延床面積（m ² ）	13.24					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり：○ なし：× 不要：—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用回数（回）	35	41	45


※4人用バンガロー利用回数÷3棟（小数点以下は切り捨て）

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入 （千円）	指定管理料 （千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房燃料、管理委託料、修繕費等）		
2013年度	（道志森のコテージ 管理棟の項を参照）			
2014年度				
2015年度				

(20) 道志森のコテージ バンガロー（8号棟 4人用）【NO.28】

●建物の状況

建築年月	1991年（平成3年）2月					
構造形式	木造					
延床面積（m ² ）	13.24					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用回数（回）	35	41	45


※4人用バンガロー利用回数÷3棟（小数点以下は切り捨て）

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入 （千円）	指定管理料 （千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房燃料、管理委託料、修繕費等）		
2013年度	（道志森のコテージ 管理棟の項を参照）			
2014年度				
2015年度				

(21) 道志の湯【NO.29】

●建物の状況

建築年月	1992年(平成4年)3月					
構造形式	鉄骨木造(一部RCS)					
延床面積(m ²)	506.75 (本館当初450.19) (本館洋室増築32.86) (男女露天風呂増築23.70)					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準 2012年度改修済み					
大規模改修	2012年(平成24年)4月改修					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ				
	—	×	× (玄関のみ○)	× (玄関のみ○)	×	×
特記事項						
付属建物	<p>本館洋室：1993年6月増築、鉄骨木造(一部RCS)、延床面積32.86m²、1階</p> <p>男女露天風呂：1998年7月増築、鉄骨木造(一部RCS)、延床面積23.70m²、1階</p> <p>本館リニューアル改修：2012年3月改修、鉄骨木造(一部RCS)、延床面積506.75m²、1階</p> <p>男女露天風呂：2016年3月改修、木造、延床面積506.75m²、1階</p> <p>機械室：1992年3月建築、鉄骨造、延床面積90.00m²、1階</p> <p>木質バイオマスボイラー室：2012年2月建築、鉄骨造、延床面積10.01m²、1階</p> <p>ガスボンベ庫：1998年3月建築、鉄骨造、延床面積163.44m²、1階</p>					

●施設の利用状況

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)	68,824	58,354	57,049


●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			売上 （千円）	施設使用料 （千円）	土地使用料 （千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖 房燃料、管理委 託料、修繕費 等）	合計			
2013年度	17,282	24,704	41,986	45,145	1,200	1,162
2014年度	17,619	26,360	43,979	40,114	600	1,214
2015年度	16,193	20,481	36,674	36,904	1,200	1,214

※支出・売上の部分は、指定管理者のほうで支払った支出となります。

(22) 道志森のコテージ バンガロー（6号棟 12人用）【NO.30】

●建物の状況

建築年月	1992年（平成4年）3月					
構造形式	木造					
延床面積（m ² ）	31.00					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用回数（回）	25	25	32

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入 （千円）	指定管理料 （千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委 託料、修繕費等）		
2013年度	（道志森のコテージ 管理棟の項を参照）			
2014年度				
2015年度				

(23) 道志森のコテージ バンガロー（10号棟 10人用）【NO.31】

●建物の状況

建築年月	1992年（平成4年）3月					
構造形式	木造					
延床面積（m ² ）	24.84					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						



●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用回数（回）	29	27	27


※10人用バンガロー利用回数÷4棟（小数点以下は切り捨て）

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入 （千円）	指定管理料 （千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房燃料、管理委託料、修繕費等）		
2013年度	（道志森のコテージ 管理棟の項を参照）			
2014年度				
2015年度				

(24) 道志森のコテージ バンガロー (11号棟 10人用) 【NO.32】

●建物の状況

建築年月	1992年(平成4年)3月					
構造形式	木造					
延床面積 (m ²)	28.00					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標 (単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用回数 (回)	29	27	27


※10人用バンガロー利用回数÷4棟 (小数点以下は切り捨て)

●施設のコスト・収入状況

	支出 (千円)		収入 (千円)	指定管理料 (千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房燃料、管理委託料、修繕費等)		
2013年度	(道志森のコテージ 管理棟の項を参照)			
2014年度				
2015年度				

(25) 道志森のコテージ バンガロー（12号棟 10人用）【NO.33】

●建物の状況

建築年月	1992年（平成4年）3月					
構造形式	木造					
延床面積（m ² ）	28.00					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用回数（回）	29	27	27


※10人用バンガロー利用回数÷4棟（小数点以下は切り捨て）

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入 （千円）	指定管理料 （千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房燃料、管理委託料、修繕費等）		
2013年度	（道志森のコテージ 管理棟の項を参照）			
2014年度				
2015年度				

(26) 道志水源の森 ギャラリー水源の森【NO.34】

●建物の状況

建築年月	1993年(平成5年)5月					
構造形式	木造					
延床面積(m ²)	381.37					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況


指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)	0	0	0

●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)			収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	合計	
2013年度	0	460	460	0
2014年度	0	460	460	0
2015年度	0	445	445	0

(27) 道志水源の森 公衆トイレ【NO.35】

●建物の状況

建築年月	1993年（平成5年）6月					
構造形式	木造					
延床面積（m ² ）	24.81					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	—	—	—

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	0	71	71	0
2014年度	0	184	184	0
2015年度	0	154	154	0

(28) 道志村交流促進施設（道の駅）【NO.36】

●建物の状況

建築年月	1998年（平成10年）3月					
構造形式	鉄骨鉄筋コンクリート造					
延床面積（㎡）	684.78 （1階 456.39） （2階 51.84） （増築 キッチン・農産物直売所 131.28） （増築 ピロティー45.27）					
階数	2（一部2階）					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用者用トイレ				
	×	×	○	○	×	×
特記事項						
付属建物	本館増築キッチン・農産物直売所：2004年3月増築、鉄骨鉄筋コンクリート造、延床面積 131.28㎡、1階 本館屋上増築：2004年3月増築、鉄骨鉄筋コンクリート造、延床面積 131.28㎡ 本館ピロティー増築：2005年3月増築、鉄骨鉄筋コンクリート造、延床面積 45.27㎡、1階 ゴミステーション：2006年5月建築、鉄骨造、延床面積 10.01㎡、1階 ガスボンベ庫：1998年3月建築、鉄骨鉄筋コンクリート、延床面積 18.00㎡、1階 備蓄倉庫（第3駐車場）：2004年3月建築、延床面積 40.00㎡、1階					

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	712,347	760,350	808,911

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			売上 （千円）	施設使用料 （千円）	土地使用料 （千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖 房燃料、管理委 託料、修繕費 等）	合計			
2013年度	48,762	55,983	104,745	308,439	18,000	2,345
2014年度	54,770	55,099	109,869	311,244	12,000	2,345
2015年度	60,465	51,034	111,499	329,657	12,000	2,345

※支出・売上の部分は、指定管理者のほうで支払った支出となります。

(29) 道志村交流促進施設 外トイレ【NO.37】

●建物の状況

建築年月	1998年（平成10年）3月					
構造形式	鉄骨鉄筋コンクリート造					
延床面積（m ² ）	91.92					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準 2012年（平成24年）3月改修					
大規模改修						
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ				
	—	○	○	×		×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	（道志村交流促進施設の項を参照）		

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入 （千円）	指定管理料 （千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房燃料、管理委託料、修繕費等）		
2013年度	（道志村交流促進施設の項を参照）			
2014年度				
2015年度				

(30) 道志村特産品加工施設【NO.38】

●建物の状況

建築年月	1998年(平成10年)12月					
構造形式	木造					
延床面積 (m ²)	139.94					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物	特産品加工施設農産物直売所：1998年(平成10年)12月建築、軽量鉄骨造、延床面積31.00㎡、1階 倉庫：2000年(平成12年)建築、軽量鉄骨造、延床面積28.71㎡、2階					

●施設の利用状況

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
従業員数(人)	8	8	8


●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)			売上 (千円)	施設使用料 (千円)	土地使用料 (千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房燃料、管理委託料、修繕費等)	合計			
2013年度	571	354	925	1,726	0	121
2014年度	230	328	558	4,697	0	121
2015年度	200	315	515	4,539	0	121

※支出・売上の部分は、指定管理者のほうで支払った支出となります。

(31) 道志森のコテージ バンガロー (13号棟 8人用) 【NO.39】

●建物の状況

建築年月	2000年(平成12年)3月					
構造形式	木造					
延床面積 (m ²)	36.00					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用回数(回)	46	44	50


※8人用バンガロー利用回数÷2棟(小数点以下は切り捨て)

●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)		収入 (千円)	指定管理料 (千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房燃料、管理委託料、修繕費等)		
2013年度	(道志森のコテージ 管理棟の項を参照)			
2014年度				
2015年度				

(32) 道志森のコテージ バンガロー（15号棟 8人用）【NO.40】

●建物の状況

建築年月	2000年（平成12年）3月					
構造形式	木造					
延床面積（m ² ）	36.00					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用回数（回）	46	44	50


※8人用バンガロー利用回数÷2棟（小数点以下は切り捨て）

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入 （千円）	指定管理料 （千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房燃料、管理委託料、修繕費等）		
2013年度	（道志森のコテージ 管理棟の項を参照）			
2014年度				
2015年度				

(33) 道志体験農園施設【NO.41】

●建物の状況

建築年月	2001年（平成13年）3月					
構造形式	木造					
延床面積（m ² ）	115.02					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
年間利用契約者数 （人）	42	39	40

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	1,389	1,191	2,580	855
2014年度	1,451	1,177	2,628	869
2015年度	1,375	1,277	2,652	895

(34) 道志水源の森 農林水産物直売 食材提供施設（そば道場）【NO.42】

●建物の状況

建築年月	2000年（平成12年）8月					
構造形式	木造					
延床面積（m ² ）	73.53					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり：○ なし：× 不要：—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						



●施設の利用状況


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	（生産物直売所の項を参照）		

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入 （千円）	指定管理料 （千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委 託料、修繕費等）		
2013年度	（生産物直売所の項を参照）			
2014年度				
2015年度				

(35) 道志村農林水産物処理加工施設豆腐加工所【NO.43】

●建物の状況

建築年月	2007年(平成19年)3月					
構造形式	木造					
延床面積(m ²)	91.53					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	○	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)	26,308	32,494	34,263


●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)			売上 (千円)	施設使用料 (千円)	土地使用料 (千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖 房燃料、管理委 託料、修繕費 等)	合計			
2013年度	16,731	5,305	22,036	13,544	782	23
2014年度	18,102	3,999	22,101	17,035	423	23
2015年度	19,656	6,925	26,581	21,869	505	23

※支出・売上の部分は、指定管理者のほうで支払った支出となります。

(36) みなもと体験館 がんどう庵【NO.44】

●建物の状況

建築年月	2010年（平成22年）3月					
構造形式	木造					
延床面積（m ² ）	69.56					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	（みなもと体験館の項を参照）		

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入 （千円）	指定管理料 （千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委 託料、修繕費等）		
2013年度	（みなもと体験館の項を参照）			
2014年度				
2015年度				

3 学校教育系施設

(1) 道志小学校（旧校舎）体育館【NO.45】

●建物の状況

建築年月	1980年（昭和55年）3月					
構造形式	鉄骨その他造					
延床面積（m ² ）	769					
階数	1					
耐震状況	H19耐震補強済					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	電気料について、小学校と契約が一つのため、体育館の使用量が不明。すべて小学校に計上。					
付属建物						



●施設の利用状況 児童及び教員数

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	103	99	92

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	
2013年度		26	26
2014年度		50	50
2015年度		37	37

(2) 道志小学校（旧校舎）【NO.46】

●建物の状況

建築年月	1982年（昭和57年）3月					
構造形式	鉄筋コンクリート造					
延床面積（m ² ）	1,795					
階数	3					
耐震状況	新耐震基準 H25 耐力度調査実施、耐震基準以下					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	○	×
特記事項	2016年度新校舎完成予定 道志小学校体育館の電気料を道志小学校に計上。					
付属建物	倉庫：軽量鉄骨造 2棟 13.39㎡ 24.7㎡					

●施設の利用状況 児童及び教員数

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	103	99	92

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	
2013年度		3,160	3,160
2014年度		2,319	2,319
2015年度		2,412	2,412

(3) 道志中学校体育館【NO.47】

●建物の状況

建築年月	2011年（平成23年）2月					
構造形式	鉄骨その他造					
延床面積（m ² ）	1,161					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	○	×	○	×
特記事項	電気料・水道料について、中学校と契約が一つのため、体育館の使用量が不明。 すべて中学校に計上。					
付属建物						



●施設の利用状況 生徒及び教員数 その他さまざまな用途で使用するが利用者数は把握していない。


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	59	50	57

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	—	—	—	—
2014年度	—	—	—	—
2015年度	—	—	—	—

(4) 道志中学校【NO.48】

●建物の状況

建築年月	2015年(平成27年)11月					
構造形式	鉄筋コンクリート造					
延床面積 (m ²)	1,989					
階数	2					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	○	○	○	×	○	×
特記事項	2016年度 小学校新校舎完成予定、小中一体型の校舎となる。 道志中学校体育館の電気料・水道料を道志中学校に計上。					
付属建物						

●施設の利用状況 生徒及び教員数

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)	—	—	57

●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)			収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	合計	
2013年度	—	—	—	—
2014年度	—	—	—	—
2015年度	—	4,649	4,649	—

(5) 道志小学校【NO.49】

●建物の状況

建築年月	2017年（平成29年）3月					
構造形式	鉄筋コンクリート造					
延床面積（m ² ）	2,173					
階数	2					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	○	○	○	×	○	×
特記事項	2016年度 小学校新校舎完成予定、小中一体型の校舎となる。 道志中学校体育館の電気料・水道料を道志中学校に計上。					
付属建物						

●施設の利用状況 生徒及び教員数


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	—	—	—

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	—	—	—	—
2014年度	—	—	—	—
2015年度	—	—	—	—

(6) 道志村学校給食センター【NO.50】

●建物の状況

建築年月	1992年(平成4年)7月					
構造形式	鉄骨その他造					
延床面積 (m ²)	217					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況 調理員数

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)	4	4	4

●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)		収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	
2013年度		2,307	2,307
2014年度		2,797	2,797
2015年度		1,673	1,673

4 子育て支援施設

(1) 道志村保育所【NO.51】

●建物の状況

建築年月	平成8年4月					
構造形式	木造					
延床面積 (m ²)	492.63 m ²					
階数	1階					
耐震状況	新耐震基準 改修未実施					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物	倉庫、防災倉庫					



●施設の利用状況

指標 (単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数 (人)	34	38	30

●施設のコスト・収入状況

	支出 (千円)			収入 (千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	合計	
2013年度	35,975	3,567	39,542	8,815
2014年度	28,442	3,784	32,226	8,893
2015年度	29,231	2,774	32,005	6,836

(2) 学童保育所どうしっこ【NO.52】

●建物の状況

建築年月	2017年(平成29年)3月					
構造形式	木造					
延床面積(m ²)	123.1 m ²					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	○	×	×	×
特記事項						
付属建物	なし					

●施設の利用状況

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)			

●施設のコスト・収入状況(旧学童施設)

	支出(千円)			収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	合計	
2013年度	4,773	215	4,986	3,003
2014年度	2,582	279	2,861	961
2015年度	2,486	115	2,601	1,057

5 保健・福祉施設

(1) 道志村福祉センター【NO.53】

●建物の状況

建築年月	1996年（平成8年）3月					
構造形式	鉄骨造、平屋建（準耐火構造）					
延床面積（㎡）	595.73					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	2010年（平成22年）2月 増築 9.6㎡					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	○	○	○	○	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	3,980	4,346	4,749

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			売上 （千円）	施設使用料 （千円）	土地使用料 （千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖 房燃料、管理委 託料、修繕費 等）	合計			
2013年度	—	—	—	—	900	—
2014年度	—	—	—	—	900	—
2015年度	—	—	—	—	900	—

※支出・売上の部分は、指定管理者のほうで支払った支出となります。

6 医療施設

(1) 道志村国民健康保険診療所・道志村国民健康保険歯科診療所【NO.54】

●建物の状況

建築年月	2010年（平成22年）2月					
構造形式	鉄骨造					
延床面積（m ² ）	412.79					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり：○ なし：× 不要：—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	○	○	○	○	×
特記事項	平成27年度 庇の設置					
付属建物	防災倉庫：2013年3月建築、木造、延床面積6.62m ² 非常用予備発電装置：2013年2月設置、設備容量87kVA、 受電電圧200V、発電機定格出力50kW、発電機定格電圧200V					



●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	6,539	5,711	5,568

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	108,503	3,022	111,525	65,529
2014年度	106,846	14,043	120,889	56,348
2015年度	96,102	3,292	99,393	54,947

7 行政系施設

(1) 道志村役場【NO.55】

●建物の状況

建築年月	1966年（昭和41年）3月					
構造形式	鉄筋コンクリート造					
延床面積（㎡）	666					
階数	2					
耐震状況	旧耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり：○ なし：× 不要：—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	○	○	×
特記事項	1975年度改修、1984年度改修、2001年度2階改修、2008年度改修、2011年度トイレ改修、2012年度改修					
付属建物	書庫：2004年1月建築、鉄骨造り、延床面積185.06㎡、2階					

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
職員数（人）	18	20	19

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	0	12749	14749	0
2014年度	0	14244	14244	0
2015年度	0	14103	14103	0

※電気料金は道志村中央公民館と合算

(2) 馬場詰所【NO.56】

●建物の状況

建築年月	不明					
構造形式	鉄骨造					
延床面積 (m ²)	26.19					
階数	1階					
耐震状況	不明					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						



●施設の利用状況

指標 (単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数 (人)			

●施設のコスト・収入状況

	支出 (千円)		収入 (千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等) 合計	
2013年度		30	30
2014年度		30	30
2015年度		30	30

(3) 戸渡詰所【NO.57】

●建物の状況

建築年月	不明					
構造形式	コンクリートブロック					
延床面積 (m ²)	21.00					
階数	1階					
耐震状況	不明					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						



●施設の利用状況

指標 (単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数 (人)			

●施設のコスト・収入状況

	支出 (千円)		収入 (千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	
2013年度		30	30
2014年度		30	30
2015年度		30	30

(4) 川原畑詰所【NO.58】

●建物の状況

建築年月	不明					
構造形式	鉄骨造					
延床面積 (m ²)	81.13					
階数	2階					
耐震状況	不明					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						



●施設の利用状況

指標 (単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数 (人)			

●施設のコスト・収入状況

	支出 (千円)		収入 (千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	
2013年度		30	30
2014年度		30	30
2015年度		30	30

(5) 白井平詰所【NO.59】

●建物の状況

建築年月	不明					
構造形式	コンクリートブロック					
延床面積 (m ²)	30.18					
階数	1階					
耐震状況	不明					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						



●施設の利用状況


指標 (単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数 (人)			

●施設のコスト・収入状況

	支出 (千円)		収入 (千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	
2013年度		30	30
2014年度		30	30
2015年度		30	30

(6) 月夜野詰所【NO.60】

●建物の状況

建築年月	1997年（平成9年）3月					
構造形式	鉄骨造					
延床面積（m ² ）	75.32					
階数	2					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	トイレ、和室、備蓄倉庫あり					
付属建物						

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）			

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	
2013年度		30	30
2014年度		30	30
2015年度		30	30

(7) 神地詰所【NO.61】

●建物の状況

建築年月	2000年（平成12年）3月					
構造形式	鉄骨造					
延床面積（m ² ）	75.32					
階数	2階					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）			

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	
2013年度		30	30
2014年度		30	30
2015年度		30	30

(8) 久保詰所【NO.62】

●建物の状況

建築年月	2001年(平成13年)3月					
構造形式	鉄骨造					
延床面積 (m ²)	75.32					
階数	2					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況


指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)			

●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)		収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	
2013年度		30	30
2014年度		30	30
2015年度		30	30

(9) 防災備蓄倉庫（道志小学校）【NO.63】

●建物の状況

建築年月	2006年（平成18年）3月					
構造形式	鉄骨造					
延床面積（m ² ）	8.92					
階数	1階					
耐震状況	新耐震性基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	飲食料、発電機、トイレ等の防災品を備蓄					
付属建物						

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）			

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	
2013年度			
2014年度			
2015年度			

(10) 防災備蓄倉庫（道志中学校）【NO.64】

●建物の状況

建築年月	2007年（平成19年）3月					
構造形式	鉄骨造					
延床面積（m ² ）	8.92					
階数	1階					
耐震状況	新耐震性基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	飲食料、発電機、トイレ等の防災品を備蓄、H28移設予定					
付属建物						



●施設の利用状況


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）			

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	
		合計	
2013年度			
2014年度			
2015年度			

(11) 椿詰所【NO.65】

●建物の状況

建築年月	2008年(平成20年)3月					
構造形式	鉄骨造					
延床面積 (m ²)	30.70					
階数	1階					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況


指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)			

●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)		収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	
2013年度		30	30
2014年度		30	30
2015年度		30	30

(12) 長又詰所【NO.66】

●建物の状況

建築年月	2008年(平成20年)3月					
構造形式	鉄骨造					
延床面積 (m ²)	20.56					
階数	1階					
耐震状況	新耐震性基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況


指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)			

●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)		収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等) 合計	
2013年度		30	30
2014年度		30	30
2015年度		30	30

(13) 防災備蓄倉庫（みなもと体験館）【NO.67】

●建物の状況

建築年月	2008年（平成20年）3月					
構造形式	鉄骨造					
延床面積（m ² ）	8.92					
階数	1階					
耐震状況	新耐震性基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	飲食料、発電機、トイレ等の防災品を備蓄					
付属建物						

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）			

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	
2013年度		合計	
2014年度			
2015年度			

(14) 防災備蓄倉庫（やまゆりセンター）【NO.68】

●建物の状況

建築年月	2008年（平成20年）3月					
構造形式	鉄骨造					
延床面積（m ² ）	8.92					
階数	1階					
耐震状況	新耐震性基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	飲食料、発電機、トイレ等の防災品を備蓄					
付属建物						



●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）			

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	
2013年度		合計	
2014年度			
2015年度			

(15) 防災備蓄倉庫（道の駅どうし）【NO.69】

●建物の状況

建築年月	2008年（平成20年）3月					
構造形式	鉄骨造					
延床面積（m ² ）	8.92					
階数	1階					
耐震状況	新耐震性基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	飲食料、発電機、トイレ等の防災品を備蓄					
付属建物						



●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）			

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	
		合計	
2013年度			
2014年度			
2015年度			

(16) 都留市消防署 道志出張所【NO.70】

●建物の状況

建築年月	2010年(平成22年)3月					
構造形式	鉄骨造					
延床面積(m ²)	116.46					
階数	2階					
耐震状況	新耐震性基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	救急車、ポンプ車、消防指令車、その他各種デジタル通信機器を配備					
付属建物						



●施設の利用状況

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)	178	184	175

●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)		収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	
2013年度	129,899		129,899
2014年度	74,367		74,367
2015年度	122,103		122,103

(17) 大室指ヘリポート【NO.71】

●建物の状況

建築年月	2010年(平成21年)3月					
構造形式	その他					
延床面積(m ²)	—					
階数	1階					
耐震状況	新耐震性基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	飲食料、発電機、トイレ等の防災品を備蓄					
付属建物						



●施設の利用状況

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)			

●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)		収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等) 合計	
2013年度			
2014年度			
2015年度			

(18) 板橋詰所【NO.72】

●建物の状況

建築年月	2012年(平成24年)3月					
構造形式	鉄骨造					
延床面積 (m ²)	20.56					
階数	1階					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)			

●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)		収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等) 合計	
2013年度		30	30
2014年度		30	30
2015年度		30	30

(19) 防災備蓄倉庫（道志村国民健康保険診療所・道志村国民健康保険歯科診療所）【NO.73】

●建物の状況

建築年月	2013年（平成25年）3月					
構造形式	木造					
延床面積（m ² ）	6.62					
階数	1階					
耐震状況	新耐震性基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	飲食料、発電機、トイレ等の防災品を備蓄					
付属建物						

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）			

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	
2013年度		合計	
2014年度			
2015年度			

(20) 防災備蓄倉庫（道志村保育所）【NO.74】

●建物の状況

建築年月	2013年（平成25年）3月					
構造形式	鉄骨造					
延床面積（m ² ）	7.45					
階数	1階					
耐震状況	新耐震性基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	飲食料、発電機、トイレ等の防災品を備蓄					
付属建物						



●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）			

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	
2013年度		合計	
2014年度			
2015年度			

(21) 防災備蓄倉庫（道志の湯）【NO.75】

●建物の状況

建築年月	2014年（平成26年）3月					
構造形式	鉄骨造					
延床面積（m ² ）	8.92					
階数	1階					
耐震状況	新耐震性基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	飲食料、発電機、トイレ等の防災品を備蓄					
付属建物						



●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）			

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	
2013年度		合計	
2014年度			
2015年度			

(22) 防災備蓄倉庫（長又地区矢の根神社）【NO.76】

●建物の状況

建築年月	2014年（平成26年）3月					
構造形式	鉄骨造					
延床面積（m ² ）	8.92					
階数	1階					
耐震状況	新耐震性基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	飲食料、発電機、トイレ等の防災品を備蓄					
付属建物						



●施設の利用状況


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）			

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	
2013年度		合計	
2014年度			
2015年度			

(23) 善之木詰所【NO.77】

●建物の状況

建築年月	2015年(平成27年)3月					
構造形式	鉄骨造					
延床面積 (m ²)	20.56					
階数	1階					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)			

●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)		収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	
2013年度		30	30
2014年度		30	30
2015年度		30	30

(24)大渡防災コミュニティセンター(防災備蓄倉庫兼一時避難所)【NO.78】

●建物の状況

建築年月	2017年(平成28年)3月					
構造形式	その他					
延床面積(m ²)	50.78					
階数	1階					
耐震状況	新耐震性基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	飲食料、発電機、トイレ等の防災品を備蓄					
付属建物						

●施設の利用状況

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)			

●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)		収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	
2013年度			
2014年度			
2015年度			

(25) 野原防災コミュニティセンター(防災備蓄倉庫兼一時避難所)【NO.79】

●建物の状況

建築年月	2017年(平成29年)3月					
構造形式	その他					
延床面積(m ²)	45.75					
階数	1階					
耐震状況	新耐震性基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	飲食料、発電機、トイレ等の防災品を備蓄					
付属建物						



●施設の利用状況

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)			


●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)		収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	
2013年度			
2014年度			
2015年度			

8 公営住宅

(1) 池の原団地【NO.80】

●建物の状況

建築年月	1990年（平成2年）3月					
構造形式	鉄筋コンクリート造					
延床面積（㎡）	797.82					
階数	3					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	2009年屋外・外壁改修工事 2010年 駐車場舗装工事					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	随時老朽化箇所修繕（エクセル管理）					
付属建物	ガス室・駐輪場：1989年3月建築、鉄筋コンクリート造、延床面積 30.77㎡、1階					

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	9,785	9,491	10,161

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	9	1,445	1,454	3,024
2014年度	8	1,475	1,483	2,506
2015年度	9	1,662	1,671	2,306

(2) 谷相団地【NO.81】

●建物の状況

建築年月	2006年(平成18年)3月					
構造形式	木造					
延床面積(m ²)	253.15					
階数	2					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	2020年度 外壁・屋根改修予定(長寿命化計画)					
付属建物	ごみステーション:2006年3月建築、木造、延床面積4.97m ² 、1階					



●施設の利用状況


指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)	4,913	5,110	5,124

●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)			収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	合計	
2013年度	4	144	148	874
2014年度	4	142	146	867
2015年度	4	166	170	862

(3) 道志村若者定住促進住宅(1) 【NO.82】

●建物の状況

建築年月	2011年(平成23年)3月					
構造形式	木造					
延床面積(m ²)	194.61					
階数	2					
耐震状況	新耐震基準 2009年度改修済み					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	—					
付属建物	—					

●施設の利用状況


指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)	2,372	2,676	2,920

●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)			収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	合計	
2013年度	0	49	49	864
2014年度	0	51	51	821
2015年度	0	49	49	719

(4) 道志村若者定住促進住宅(2) 【NO.83】

●建物の状況

建築年月	2012年(平成24年)3月					
構造形式	木造					
延床面積(m ²)	194.61					
階数	2					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	—					
付属建物	—					

●施設の利用状況

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)	2,190	2,190	2,190

●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)			収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	合計	
2013年度	0	45	45	825
2014年度	0	47	47	827
2015年度	0	48	48	826

9 公園

(1) 竹之本公衆トイレ【NO.84】

●建物の状況

建築年月	1980年（昭和55年）3月					
構造形式	コンクリートブロック					
延床面積（m ² ）	16.00					
階数	1					
耐震状況	旧耐震基準（診断・改修未実施）					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり：○ なし：× 不要：—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						



●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	—	—	—

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	60	91	151	0
2014年度	60	110	170	0
2015年度	60	91	151	0

(2) 大室指公衆トイレ【NO.85】

●建物の状況

建築年月	1981年（昭和56年）3月					
構造形式	コンクリートブロック					
延床面積（m ² ）	14.00					
階数	1					
耐震状況	旧耐震基準（診断・改修未実施）					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり：○ なし：× 不要：—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						



●施設の利用状況


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	—	—	—

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	60	25	85	0
2014年度	60	26	86	0
2015年度	60	26	86	0

(3) 和出村公衆トイレ【NO.86】

●建物の状況

建築年月	1982年（昭和57年）3月					
構造形式	鉄筋コンクリート					
延床面積（m ² ）	26.00					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準 2012年（平成24年）度改修済み					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	—	—	—

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	60	155	215	0
2014年度	60	143	203	0
2015年度	60	160	220	0

(4) 月夜野公衆トイレ【NO.87】

●建物の状況

建築年月	1984年(昭和59年)12月					
構造形式	コンクリートブロック					
延床面積(m ²)	14.00					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						



●施設の利用状況


指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)	—	—	—

●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)			収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	合計	
2013年度	60	76	136	0
2014年度	60	353	413	0
2015年度	60	561	621	0

(5) 久保公衆トイレ【NO.88】

●建物の状況

建築年月	1992年（平成4年）3月					
構造形式	コンクリートブロック					
延床面積（m ² ）	6.80					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	—	—	—

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	60	81	141	0
2014年度	60	86	146	0
2015年度	60	90	150	0

(6) 山ゆりの里農村公園公衆トイレ【NO.89】

●建物の状況

建築年月	1992年(平成4年)9月					
構造形式	コンクリートブロック					
延床面積 (m ²)	5.00					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況


指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)	—	—	—

●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)			収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	合計	
2013年度	0	13	13	0
2014年度	0	32	32	0
2015年度	0	25	25	0

(7) 道志村林間広場 倉庫併設公衆トイレ【NO.90】

●建物の状況

建築年月	1993年（平成5年）3月					
構造形式	鉄筋コンクリート					
延床面積（m ² ）	36.17					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	—	—	—

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	30	81	111	0
2014年度	30	65	95	0
2015年度	30	92	122	0

(8) 室久保農村公園公衆トイレ【NO.91】

●建物の状況

建築年月	1997年(平成9年)3月					
構造形式	木造					
延床面積(m ²)	7.60					
階数	1					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標(単位)	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数(人)	—	—	—


●施設のコスト・収入状況

	支出(千円)			収入(千円)
	施設運営費 (人件費等)	維持管理費 (光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等)	合計	
2013年度	30	25	55	0
2014年度	30	32	62	0
2015年度	30	32	62	0

10 その他

(1) 馬場教員住宅【NO.92】

●建物の状況

建築年月	1981年（昭和56年）3月					
構造形式	木造					
延床面積（m ² ）	79					
階数	1					
耐震状況	旧耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項	現在は倉庫として使用している。					
付属建物						

●施設の利用状況


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	0	0	0

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	
		合計	
2013年度			
2014年度			
2015年度			

(2) 道志村医師住宅【NO.93】

●建物の状況

建築年月	1989年（平成1年）12月					
構造形式	木造					
延床面積（m ² ）	96.89					
階数	2					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	2009年12月					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	—	—	—	—	—	—
特記事項	2009年12月 ダイニングキッチン、浴室、脱衣場、トイレ2ヶ所改修					
付属建物						

●施設の利用状況


指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	2	2	2

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）			収入（千円）
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）	合計	
2013年度	0	294	294	0
2014年度	0	129	129	0
2015年度	0	170	170	0

(3) ハイッビックマロン【NO.94】

●建物の状況

建築年月	1994年（平成6年）3月					
構造形式	鉄筋コンクリート造					
延床面積（m ² ）	713					
階数	3					
耐震状況	新耐震基準					
大規模改修	—					
バリアフリー 対応状況 あり:○ なし:× 不要:—	エレベーター	車いす使用 者用トイレ	スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック
	×	×	×	×	×	×
特記事項						
付属建物						

●施設の利用状況

指標（単位）	2013年度	2014年度	2015年度
利用者数（人）	18	18	18

●施設のコスト・収入状況

	支出（千円）		収入（千円）	
	施設運営費 （人件費等）	維持管理費 （光熱水費、暖房 燃料、管理委託料、 修繕費等）		合計
2013年度		1,480	1,480	2,140
2014年度		1,022	1,022	2,520
2015年度		1,389	1,389	2,432

